

## リファレンス編

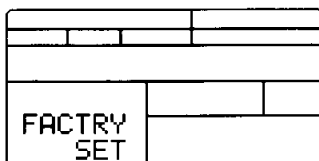
この章では、RY8の各機能をモード別に詳しく説明しています。辞書を使うように、目次や索引から知りたい項目だけをピックアップして調べたり、一歩踏み込んだ使い方をマスターするためにお使いください。

### 初期化の方法

RY8を購入時と同じ初期設定に戻すことができます。

**CAUTION** 初期化を行うと、作成したデータがすべて消えてしまいます。大切なデータは、この操作を実行する前に、ヤマハMIDIデータファイラーMDF2などに保存していただくことをおすすめします。

1. RY8の電源をオフにします。
2. [+1] / [-1] キーを同時に押しながらRY8の電源をオンにします。LCDに“FACTRY SET” (初期化実行中) が表示されます。初期化が終了するとパターンプレイモードになります。



# RY8のモードについて

RY8にはパターンとソングのメインモードがあります。また、パターンモード/ソングモード以外にもさまざまな機能を効率よく利用できるように7つのモードを用意しています。

## パターンモード(PATTERN).....(→P63)

パターンに関するさまざまな機能を持っており、パターンの選択/演奏などを行うパターンプレイモードとパターンの録音/編集などを行うパターンレコードモードにわかれています。

RY8の電源を入れた直後はいつも自動的にパターンプレイモードになっています。

- パターンプレイモード
  - パターンの選択 (パターンセレクト) (1 ページ目)
  - スイングの設定 (2 ページ目)
  - パターンのクリア (3 ページ目)
  - パターンのコピー (4 ページ目)

- パターンレコードモード
  - ステップ/リアルタイム録音 (1 ページ目)
  - メーター (拍子、クオンタイズ) の設定 (2 ページ目)

## ソングモード(SONG).....(→P74)

ソングに関するさまざまな機能を持っており、ソングの選択/演奏などを行うソングプレイモードとソングの録音/編集などを行うソングレコードモードにわかれています。

- ソングプレイモード
  - ソングの選択 (ソングセレクト) (1 ページ目)
  - リピートの設定 (2 ページ目)
  - チェーンの設定 (3 ページ目)
  - ソングのクリア (4 ページ目)
  - ソングのコピー (5 ページ目)

- ソングレコードモード
  - ステップ/リアルタイム録音 (1 ページ目)
  - パターン/コードのデリート (2 ページ目)
  - パターン/コードのインサート (3 ページ目)

**NOTE** パターンモード/ソングモードでパターン/ソングの演奏中や録音中でもシステムモード以外のモードを選択し、設定を変更することができます。逆にシステムモードが選ばれているときは、パターン/ソングの演奏をすることはできません。

## ドラムキットモード(KIT).....(→P86)

ドラムキットの選択/ドラムパッドへのボイスの割り当てなど、ドラムキットに関する機能を持っています。

- ドラムキットの選択 (1 ページ目)
- ドラムボイスのアサイン (割り当て) (2 ページ目)
- ボリュームレベルの設定 (3 ページ目)
- アクセントレベルの設定 (4 ページ目)
- ステレオパンの設定 (5 ページ目)
- チューンの設定 (6 ページ目)
- ドラムキットのコピー (7 ページ目)
- チェイスの設定 (8 ページ目)

## エクスターナルインモード(EXT IN).....(→P92)

チューナーやギターシンセサイザー機能など、外部からギターを接続した場合に使用できる機能を持っています。

- ミックス機能 (1 ページ目)
- エクスターナルインボイスのタイプとボイスの選択 (2 ページ目)
- チューナー機能 (3 ページ目)
- センシティブティの調節 (4 ページ目)
- リモートスタート機能 (5 ページ目)

## システムモード(SYSTEM).....(→P96)

MIDIを使って外部機器とデータをやり取りする場合に必要な機能を持っています。

- MIDIシンクの設定 (1 ページ目)
- MIDI送信/受信チャンネルの設定 (2 ページ目)
- プログラムチェンジ受信チャンネルの設定 (3 ページ目)
- ノートテーブルの選択 (4 ページ目)
- ノートナンバーのアサイン (割り当て) (5 ページ目)
- バルクデータの送信 (ノ受信) (6 ページ目)
- エクスターナルインボイス送信チャンネルの設定 (7 ページ目)
- ハーモニーボイス送信チャンネルの設定 (8 ページ目)

## テンポモード(TEMPO).....(→P101)

パターンやソングのテンポ (速さ) を調節することができます。

## ミュートモード(MUTE).....(→P102)

バックキングを構成しているベース音やコード音 1/2 をそれぞれミュート (消音) することができます。

- ベースのミュート (1 ページ目)
- コード1のミュート (2 ページ目)
- コード2のミュート (3 ページ目)

## バランスモード(BALANCE).....(→P103)

バックキングを構成しているベース音やコード音 1/2 などの音量バランスをとることができます。

- ベースのバランス (1 ページ目)
- コード1のバランス (2 ページ目)
- コード2のバランス (3 ページ目)
- エクスターナルインボイスのバランス (4 ページ目)
- ハーモニーボイスのバランス (5 ページ目)

## トランスポーズモード(TRANPOSE).....(→P104)

バックキングにトランスポーズ (移調) をかけることができます。

**NOTE** テンポモードやトランスポーズモード以外のモードは複数のページで構成されています。各モードでMODE (モード) キーを押しながら [+1] / [-1] キーを押してページを選択することができます。

## ドラムパッドについて.....(→P62)

ドラムパッドはモードに関係なくいつでも演奏に使用できます。

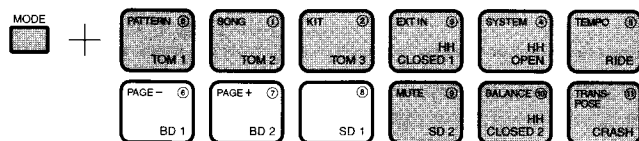
## ■各モードへの入り方とページの選び方

RY8のさまざまな機能を活用する上で、最も基本的な操作となります。まず、しっかりと理解しておきましょう。

### 1. モードを選ぶ

MODE (モード) キーを押しながら各モードに対応したドラムパッドを押します。

選んだモードの最初の画面 (1 ページ目) がLCDに表示されます。



### 2. ページを選ぶ

MODE キーを押しながら PAGE+ (ページ+) キーまたは PAGE- (ページ-) キーを押して必要なページを選びます。PAGE+ キーで次ページへ進み、PAGE- キーで前ページへ戻ります。



## ■ドラムパッドについて

RY8には128種類におよぶ多彩なドラムボイスが用意されています。これらのボイスは24種類 (ドラム/パーカッションパッドバンク) のボイスをひとまとめたドラムキット単位で、各ドラムパッドに自由にアサインする (割り当てる) ことができます。

ドラムパッドはどのモードにいるときでもたたいて演奏することができます。

パターンは12種類のプリセットドラムキットの1つを使って作られています。したがって、別のパターンを選択すると別のドラムキットが選ばれ、ドラムパッドにアサインされているドラムボイスも変わります。

**NOTE** いつでも一時的にその他のドラムボイスに変更することができます。また、ユーザードラムキットは最高4グループまで作ることができます。詳しくはP86の「ドラムキットモード」をご覧ください。

1つのドラムキットには2つのパッドバンクがあり、それぞれのバンクに12種類のドラム系のボイスと12種類のパーカッション系のボイスが割り当てられています。

PAD BANK (パッドバンク) キーを押すたびに、2つのパッドバンクを交互に切り替えることができます。

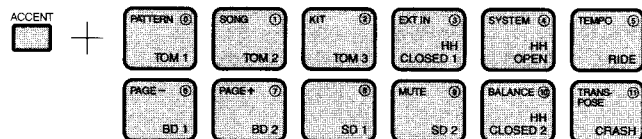


LCDの右上に表示される小さな“DRUM”または“PERC”でどちらのバンクを選んでいるのかを確認できます。



**HINT** 各ドラムパッドにはそれぞれドラムの名称がついているので、たたくときの目安になります。ただし、バンクの切り替えなどでパーカッション系のボイスが割り当てられた場合、実際に発音される音と各ドラムパッドに表示されている名称とが一致しなくなることがあります。詳細はP108「ドラムボイスリスト」をご覧ください。

また、ACCENT (アクセント) キーを押しながらパッドをたたくと、そのドラムパッドの音にアクセントをつける (音を大きく/小さくする) ことができます。



**NOTE** ユーザードラムキットではドラムパッドにアクセントレベルを自由に設定することができます。(P89)

# パターンモード(PATTERN)

※各モードへの入り方とモード内のページを選ぶ操作をマスターしてからお読みください。(→P62)

RY8の電源を入れた直後はいつも自動的にパターンモードの1ページ目(パターンの選択画面)になっています。このモードにはさらにパターンプレイモードとパターンレコードモードがあります。

**パターンプレイモード** ..... パターンの演奏に関するモードです。

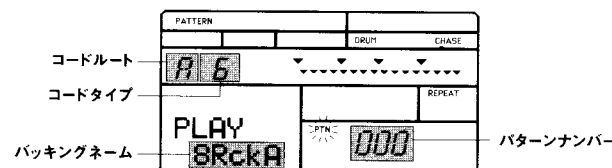
パターンプレイモードを選択しているときは、LCDの左上に小さく“PATTERN”が表示されます。

**パターンレコードモード** ..... パターンの録音に関するモードです。

パターンレコードモードを選択しているときは、LCDの左上に小さく“PATTERN”“RECORD”が表示されます。

## パターンプレイモード

### ■ パターンの選択 ..... 1ページ目の画面



1. LCDの“PTN”表示にカーソルが合っている(点滅している)ことを確認します。  
もし“PTN”表示が点滅していない場合は、[▶]カーソルキーを押してカーソルを“PTN”に合わせてください。

**NOTE** 電源を入れた直後やこの画面を表示させたときは、いつも自動的に“PTN”表示にカーソルが合っています。

2. [+1] キーまたは [-1] キーを押して演奏/録音したいパターンナンバーを選びます。  
パターンナンバーを選ぶと、そのパターンに設定されているバックキックも自動的に選ばれ、バックキック名が変わります。

**選べるナンバー:**

000~199 (50タイプ×4セクション=200種類のさまざまなリズムパターンが200種類のバックキックとともにプリセットされています。)

200~249 (50種類のオリジナルパターンを録音するためのエリアです。何もデータが入っていないときはパターンナンバーの右側に“EMPTY” (空) と表示されます。)

**HINT** RY8のパネル上に便利なパターンナンバーとジャンルに対応表がついています。なお、詳細はP112の「パターンリスト」をご覧ください。

## セクションについて

各リズムパターンにはそれぞれ4つのセクションが用意されており、同時にバックキックともリンクしています。バックキック名の右側に表示されたABCDに対して、それぞれメインパターンA、メインパターンB、フィルインパターンAB、フィルインパターンBAのセクションとなっています。

**メインパターンA:** もっともオーソドックスなパターンで曲の基本的なパートで使用します。

**メインパターンB:** メインパターンAのバリエーションパターンです。

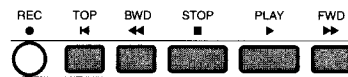
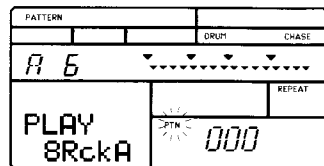
**フィルインパターンAB:** 主にメインパターンAからメインパターンBへつなぐフィルインパターンとして使用します。

**フィルインパターンBA:** 主にメインパターンBからメインパターンAへつなぐフィルインパターンとして使用します。

## バックキックについて

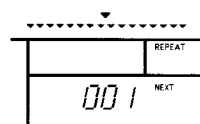
バックキックはコード1、コード2、ベース音から構成され、指定されたコード (和音) から自動的に最適なバックキックが演奏されるようになっています。

## ■ パターンの演奏.....1ページ目の画面



1. PLAY (プレイ) キーを押すと、パターン演奏がスタートします。

パターンの演奏中でも、[+1] / [-1] キーで別のパターンを選択して演奏させることができます。現在演奏しているパターンが終わるまでは、新たに選択したパターンの演奏は始まりません。LCDには“NEXT”が表示され、次のパターンが待機中であることを示します。現在演奏しているパターンが終わると、パターンナンバーとバックギグネームの表示が変わり、次のパターンの演奏が始まります。



2. STOP (ストップ) キーを押すと、パターン演奏がストップします。

**NOTE** どのパターンも1小節で構成されています。

3. PLAY キーをもう一度押すと、パターン演奏が停止した位置から始まります。

4. 演奏停止中に TOP (トップ) キー、BWD (巻戻し) キー、FWD (早送り) キーを押すと、パターンを先頭に戻すことができます。

**HINT** パターン演奏に合わせてドラムパッドによる演奏が楽しめます。

**NOTE** 演奏中でもテンボモードを選択し、パターンのテンボを変更することができます。(→P101)

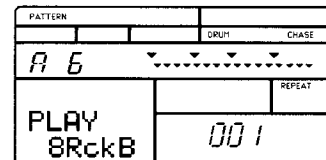
### ビート/ポジションインディケーター

LCDの右上にはビート/ポジションインディケーターが表示され、現在のクロックポジションが点滅します。ビート(拍)数やポジション数は、現在選択されているパターンの拍子によって異なります。

#### ●ビートインディケーター

演奏中は現在のテンポに合わせてビートインディケーターが次のように点滅します。

##### 4/4 拍子の場合



すべての▼が小節の頭で点滅



それぞれの▼がビート(拍)の位置で点滅



ビートインディケーター

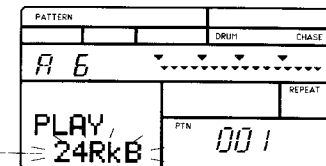
#### ●ポジションインディケーター

演奏停止中はポジションインディケーターの点滅で現在の位置を確認することができます。

▼▼▼▼▼ ポジションインディケーター

## バックギグの変更

演奏中/停止中を問わず、リズムパターンを変えずにバックギグだけを変更することができます。



バックギグネーム

1. [◀] カーソルキーを押して、バックギグネームにカーソルを合わせます。

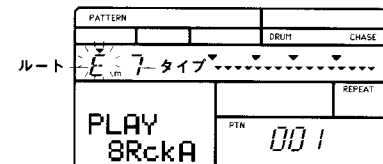
2. [+1] / [-1] キーで別のバックギグを選択します。  
次の小節の先頭から選んだバックギグの演奏に変わります。

**HINT** [+1] キーを押し続けて“BKOFF” (バックギグオフ) を表示させることにより、バックギグをオフにすることができ、リズムだけを鳴らしたい場合に便利です。また、バックギグの構成音 (コード1、コード2、ベース) を個別にミュート (消音) することもできます。(→P102)

**NOTE** プリセットパターンの場合ここでのバックギグの変更はあくまでも一時的なものです。元のパターンナンバーにカーソルを戻し、あらためてパターンを選択し直した時点で元の設定に戻ります。

## コードの変更

演奏中/停止中を問わず、バックギグに対するコードを設定/変更することができます。



1. CHORD(コード)キーを押すと、コード指定機能が選択されます。▼マークがコードのルート表示上で点滅します。
2. [+1] / [-1] キーでコードの基本となるルート (根音) を指定します。ルート/タイプ表示が点滅状態になります。  
設定値: C, D<sup>b</sup>, D, E<sup>b</sup>, E, F, G<sup>b</sup>, G, A<sup>b</sup>, A, B<sup>b</sup>, B
3. [▶] カーソルキーで▼マークをコードのタイプ表示上に合わせ、[+1] / [-1] キーでコードのタイプを指定します。

**NOTE** ルート表示上に▼マークを戻したいときは [◀] カーソルキーを押します。

設定できるコードタイプについては次ページの「コードタイプリスト」をご覧ください。

4. ENTER (エンター) キーを押して指定したコードを確定します (ルート/タイプが点灯表示に戻ります)。同時にバックギグの構成音が自動的に変化します。
5. もう一度 CHORD キーを押すと、コード指定機能が解除され、元の状態に戻ります。

**NOTE** ここでのコードの変更はあくまでも一時的なもので、各パターンに固有のコードを設定できるわけではありません。ソング作成時はポジション単位でコードを設定していくことができます。(→P83)

## コードタイプリスト(ルートがCのときのコードの構成音)

LCDの表示  
読み方

(空白) メジャー	m マイナー	7 セブンス	m7 マイナーセブンス	M7 メジャーセブンス	mM7 マイナーメジャーセブンス
sus4 ササフォー	7sus4 セブンスササフォー	m7b5 マイナーセブンスフラットファイフ	dim ディミニッシュ	6 シックス	m6 マイナーシックス
#5 オーギュメント	7#5 セブンスオーギュメント	add9 アドナインス	m add9 マイナーアドナインス	7 9 セブンスナインス	7b9 セブンスフラットナインス
7#9 セブンスシャープナインス	M7 9 メジャーセブンスナインス	m7 9 マイナーセブンスナインス	7#11 セブンスシャープイレブン	m7 11 マイナーセブンスイレブン	7 13 セブンスサーティーン

## ■ スイングの設定.....2ページ目の画面

PATTERN	DRUM	CHASE
A B	.....	.....
SWING		REPEAT
OFF		

スイングとは通常のリズムに弾みをつけ演奏にノリを出す機能です。パターン演奏時に有効で、各パターンごとに設定することができます。リズムパターンだけではなくバックキックにも効果が掛かります。

**NOTE** プリセットパターン／ユーザーパターンのどちらにも有効です。

- スイング機能のページを選ぶと、LCDに“SWING”が表示されます。また、その下で現在のスイングの設定が点滅します。
- [+1] / [-1] キーで値を設定します。  
設定値：OFF、E1～E9、S1～S5

**NOTE** パターン演奏時にスイングが設定されているパターンを選ぶと、LCDの左上に“SWING”が表示されます。

**NOTE** スイングには大きく分けて8ビート系 (E) と16ビート系 (S) があります。現在選んでいるパターンや設定値によってはスイングの効果がはっきりしない場合もあります。いろいろな値を試してみてください。

## ■ パターンのクリア.....3ページ目の画面

(※このページはパターン演奏がストップしているときに選ぶことができます。)

不要なユーザーパターン (200～249) をパターンごとにクリア (消去) することができます。

PATTERN	DRUM	CHASE
A B	.....	.....
CLEAR SURE?	PTN 200	REPEAT

- パターンクリアのページを選ぶと、LCDに“CLEAR SURE?” (クリアしますか?) が表示されます。
- [+1] / [-1] キーでクリアしたいユーザーパターンナンバーを設定します。
- ENTER (エンター) キーを押すとクリアが実行され、パターンナンバーの右側に“EMPTY” (空) が表示されます。

**NOTE** プリセットパターン (000～199) を選んでENTERキーを押しても一瞬“PRESET”が表示されるだけで、クリアは実行されません。正しいナンバー (200～249) を選んでもう一度実行してください。

## ■ パターンのコピー.....4ページ目の画面

(※このページはパターン演奏がストップしているときに選ぶことができます。)

プリセットパターンや録音済みのユーザーパターンをユーザーパターン (200～249) へそのままコピーすることができます。あるパターンと少しだけ異なるパターンを作りたい場合など、まずそのパターンをコピーし、少し変更を加えるだけで簡単に新しいパターンを作ることができ、便利です。

PATTERN	DRUM	CHASE
A B	.....	.....
COPY SURE?	PTN 220	EMPTY

- まず、このコピー機能の画面を選ぶ前に、1ページ目の画面 (パターンの選択画面) でコピーしたいパターン (コピー元) を選びます。
- 次にこのページを選びます。LCDに“COPY SURE?” (コピーしますか?) が表示され、右側のパターンナンバーが200になります。
- [+1] / [-1] キーでコピー先となるユーザーパターンナンバー (200～249) を設定します。
- ENTER (エンター) キーを押すとコピーが実行されます。

**NOTE** コピー元パターンの初期テンポ、スイングの設定、ドラムキット、バックキックもコピーされます。

**CAUTION** コピーを実行すると、コピー先のパターンのデータはすべて書き替えられてしまいます。大事なオリジナルパターンを誤って消してしまわないよう注意しましょう。

**NOTE** コピー先のパターンにすでにデータがあり、メーター (拍子／クオンタイズ) の設定がコピー元のパターンとは異なる場合は、ENTERキーを押しても“TS NOT MATCH” (拍子が異なります) が表示され、コピーは実行できません。このような場合は、コピー先のパターンとして、空のパターンがコピー元と同じメーター設定のパターンを選んでください。

**NOTE** コピーを実行しようすると“MEMORY FULL”が表示されることがあります。詳細についてはP105の「LCDディスプレイメッセージ」をご覧ください。

## パターンレコードモード

パターンナンバー200～249までのユーザーパターン(50個)に、オリジナルのリズムパターンを録音することができます。録音したパターンには200種類のバックングの中から好きなものを組み合わせて登録し、演奏させることができます。

パターンの録音方法には次の2通りがあります。

**ステップ録音:** ドラムボイスを1音ずつ正確にプログラムしていく方法です。

**リアルタイム録音:** クリック音に合わせて実際に演奏しながら録音していく方法です。

どちらの方法を使用するかは、録音したいリズムのタイプや好みによって変わってきます。たとえば、ステップ録音で基本的なビートを録音した後、リアルタイム録音でアクセントや装飾をほどこしていく、というような両方を用いた録音方法も可能です。

**HINT** プリセットパターンと似かよったパターンを作りたい場合は、そのプリセットパターンをコピーして編集(録音)すると早く手軽に作ることができます。

### ■ 録音の準備

まず実際に録音を始める前にいくつかの準備があります。

1. パターンの選択画面でパターンナンバー 200～249 のの中から録音したいナンバーを選びます。

**NOTE** まだデータの入っていない(録音されていない)パターンナンバーの隣には“EMPTY”が表示されます。

2. 必要に応じて録音に使用したいドラムキット/パッドバンクを選択します。(ドラムキットモード→P86)

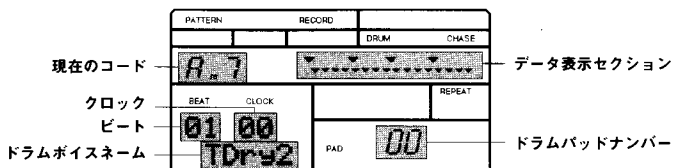
**NOTE** キットモードにはアクセントレベルやチェイスの設定など、その他にもさまざまな機能があります。

**NOTE** チェイス機能をオンにすると、常に録音に使用したドラムキットを使ってパターンを再生することができます。(→P91)

3. パターンセレクト画面に戻ります。

### ■ パターンレコードモード

REC (レコード) キーを押すと、LCD の表示が次のように変わります。



現在のコードには、現在選ばれているコードのルートとタイプが表示されます。

ビート/クロックは、パターン(1小節)の中の現在の位置を数字で表示します。

ドラムパッドナンバー/ドラムボイスネームはそれぞれ現在選択されているものが表示されます。

データ表示セクションには、入力されたドラムボイスやアクセントのデータが“■”データインディケーターで示されます。

ビートインディケーター[▼] ポジションインディケーター(点滅は入力位置を示す) データインディケーター[■]

**NOTE** “■”データインディケーターが表示するデータは、現在LCD上で表示されているボイスネーム(現在選択されているドラムパッド)またはアクセントのデータです。一度に複数のボイスデータを表示することはできません。

この状態をパターンレコードモードと呼び、ステップ録音もリアルタイム録音もこの状態から始めます。

パターンレコードモードではLCDの左上に“PATTERN”“RECORD”が小さく表示されます。

**NOTE** REC キーを押してLCD上に“PRESET”が表示される場合は、現在プリセットパターンが選ばれていることを示します。プリセットパターンには録音することはできません。パターンの録音をする場合はユーザーパターン(200～249)を選んでください。

**NOTE** もう一度RECキーを押すとパターンレコードモードを抜けてパターンプレイモード(パターンの選択画面)に戻ります。

### メーター(拍子/クオンタイズ)の設定

パターンを録音する前に、必要に応じて拍子とクオンタイズ(分解能)を設定することができます。

1. パターンレコードモードでMODE(モード)キーを押しながら、PAGE+(ページ+)キー(ドラムパッドの7)を押します。メーター設定画面になり、LCDには現在選ばれているメーターが点滅します。
2. [+1]/[-1]キーを押して、メーターを設定します。ビート/ポジションインディケーターの表示が選ばれたメーターに合わせて変化します。

設定値:

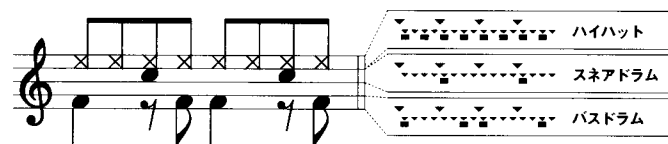
拍子	クオンタイズ	拍子	クオンタイズ
01/04	12、16、24、32	01/16	16、32
02/04	12、16、24、32	03/16	16、32
03/04	12、16	05/16	16、32
04/04	12、16	07/16	16、32
05/04	12	09/16	16
01/08	16、24、32	11/16	16
03/08	16、24、32	13/16	16
05/08	16、24	15/16	16
07/08	16		

3. 設定が終わったら、MODEキーを押しながらPAGE-(ページ-)キー(ドラムパッドの6)を押して、パターンレコードモードに戻ります。

**NOTE** ここで設定したクオンタイズによってパターンデータの入力位置の数が決まります。また、リアルタイム録音をする場合は、このクオンタイズによって音のばらつき(タイミングのずれ)が自動的に調整されます。一度録音した(データのある)ユーザーパターンのメーターは変更することができません。必要に応じて、パターンクリア機能を使って不要なパターンを消去してください。

### 8ビートパターンのドラム譜例

次の8ビートパターンを録音した場合、LCDの表示は以下のようになります。

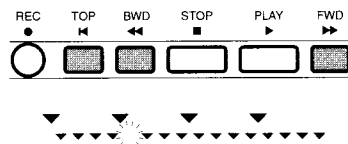


## ■ ステップ録音

ステップ録音では、データ表示セクションの選んだ入力位置にドラムパッドを使ってボイスデータを入力します。

パターンレコードモードで、ドラムパッドがACCENT (アクセント) キーでのデータ入力を開始することにより、ステップ録音が始まります。

1. FWD (早送り) キー、BWD (巻戻し) キー、TOP (トップ) キーで入力位置 (ポジションインディケーター) を移動させます。

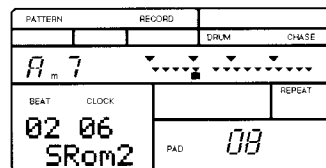


**FWD キー**：クロック単位で入力位置を進めることができます。

**BWD キー**：クロック単位で入力位置を戻すことができます。

**TOP キー**：入力位置を小節の先頭に戻します。

2. 入力したいボイスのドラムパッドを押します。押したパッドのナンバーとボイスネームがLCDに表示され、データ表示セクションに入力されたデータが“■”で表示されます。



**NOTE** ドラムパッドを押すと、自動的に入力位置が1クロック進みます。

3. 同じように1、2の操作を繰り返し他の入力位置を選んで、必要なボイスを入力していきます。
4. ステップ録音を終了したい場合はREC (レコード) ボタンを押してください。パターンプレイモード (パターンの選択画面) に戻ります。

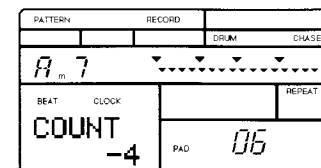
**NOTE** 同じ入力位置に複数のボイスを入力することは可能ですが、論理的につじつまの合わない複数のボイス (たとえばクローズハイハットとオープンハイハットなど) が同じ位置に入力された場合、RY8は自動的にドラムパッドナンバーが大きい方のボイスを優先します。小さい方のボイスは発音されません。

**CAUTION** RY8は50パターン/ソングまでメモリーできるように設計されていますが、メモリー容量を越えて入力することはできません。したがって、メモリー使用量の多いパターン/ソングを入力すると、パターン/ソングに空きナンバーが多数あっても、録音できない場合があります。ご了承ください。

## ■ リアルタイム録音

リアルタイム録音ではクリック音に合わせてドラムパッドをたたきながらボイスデータを入力していきます。パターンレコードモードで、PLAY (プレイ) ボタンを押すことにより、リアルタイム録音が始まります。

1. PLAY ボタンを押すと、クリック音のカウントが始まります。実際の録音の前に、1小節のカウントイン (-4, -3, -2, -1など) がLCDに表示されます。カウントの直後からリアルタイム録音がスタートします。



**NOTE** カウントの回数は、現在のメーターの設定によって異なります。

2. ドラムパッドをたたいて演奏します。データ表示セクションに入力されたデータが“■”で表示されます。1小節が繰り返されますので、最初はバスドラム、次はスネアドラムなどのように1ボイスずつ録音していくとよいでしょう。



**NOTE** 録音中は現在のテンポに合わせてビートインディケーターが点滅します。MODE (モード) キーを押しながらTEMPO (テンポ) キー (パッド5) を押してテンポ表示に変え、最適なテンポを選ぶことができます。(・P101)

3. STOP (ストップ) ボタンを押すと、録音が停止します。ポジションインディケーターが停止した位置で点滅します。もう一度PLAY ボタンを押すと、再びカウントに続けて1小節の頭からリアルタイム録音が始まります。

**HINT** ここでステップ録音による入力方法を使えば、一度停止した位置や特定の位置から録音を再開することができます。

4. リアルタイム録音を終了したい場合は一度STOP ボタンを押して録音を停止した後、REC (レコード) ボタンを押してください。パターンプレイモード (パターンの選択画面) に戻ります。

### オーディション機能

ステップ/リアルタイム録音中に、データを入力せずにそれぞれのドラムパッドにアサインされているボイスを聞いてみるすることができます。入力前に自分が録音したい音を確認できるのでたいへん便利です。

AUDITION (オーディション) キーを押しながらドラムパッドをたたきます。そのドラムパッドにアサインされているボイスを試し聞きすることができます。



**NOTE** データ入力されたポジションには“■”が表示されます。選んだドラムパッドのボイスデータが入力されていない場合は、データ表示セクションにデータインディケーター“■”は現れません。

**HINT** ステップ録音時 (リアルタイム録音の停止中) は、いつでもFWD (早送り) キー、BWD (巻戻し) キーでポジションを移動させ、クロック単位で入力されているボイスを発音させることができます。

### ボイスデータのデリート(削除)

録音中に誤って入力したデータや録音済みのパターンの中の不要なデータを簡単にデリートすることができます。ステップ、リアルタイムどちらの録音時にもデリートを実行できます。

ステップ/リアルタイム録音時に、デリートしたい位置で、DELETE (デリート) キーを押しながらデリートしたいボイスのドラムパッドを押します。押されたドラムパッドのボイスのデータインディケーター“■”がデータ表示セクションから消えます。



**HINT** ステップ録音時にはもう一つ別のデリート方法があります。

ステップ録音時 (リアルタイム録音の停止中) に、まず AUDITION (オーディション) キーを押しながらデリートしたいドラムパッドを押して、データ表示セクションにそのドラムパッドの現在のボイスデータを表示させます。次に FWD (早送り) キー、BWD (巻戻し) キーを使って、デリートしたいデータの位置までポジションを移動させ、DELETE キーを押しながら ENTER (エンター) キーを押します。

### アクセント機能

ACCENT(アクセント)キーを使って、ドラムパッドでドラムボイスを録音するのと同じ要領で、アクセントデータを入力したりデリートしたりすることができます。

**NOTE** 録音にユーザードラムキットを使う場合は、好きなアクセントレベルを前もって設定することができます。(→P89)

**NOTE** 演奏時も ACCENT キーを押しながらドラムパッドをたたくと、そのドラムパッドの音にアクセントをつけることができます。(→P62)

### アクセントの入力

ステップ/リアルタイム録音時に、アクセントをつけたいタイミングで ACCENT キーを押します。入力されたアクセントデータがデータ表示セクションに“■”で表示されます。また、LCDの左下のボイスネーム表示が“acnt”の表示に変わり、現在アクセントアサイン画面にしていることを知らせます。

アクセントアサイン画面から抜けるには、AUDITION(オーディション)キーを押しながらいずれかのドラムパッドを押します。(そのまま、ドラムパッドを押すと、不要なボイスデータが入力されてしまいます。)

**NOTE** アクセントアサイン画面ではデータ表示セクションの“■”表示はアクセントデータの入力位置を示しています。ボイスデータと混同しないように気をつけてください。

### アクセントの確認

ステップ/リアルタイム録音時に AUDITION キーを押しながら ACCENT キーを押すことで(データ入力なしで)、アクセントアサイン画面を表示させることができますので、どのタイミングにアクセントデータが入っているのかをデータ表示セクション上で簡単に確認することができます。

### アクセントデータのデリート (削除)

録音中に誤って入力したアクセントデータや録音済みのパターンの中の不要なアクセントデータを簡単にデリートすることができます。ステップ、リアルタイムどちらの録音時にも有効です。

ステップ/リアルタイム録音時に、デリートしたい位置で DELETE (デリート) キーを押しながら、ACCENT キーを押します。押されたタイミングのデータインディケーター“■”がデータ表示セクションから消えます。

**HINT** ステップ録音時には、もう一つ別のデリート方法があります。

ステップ録音時 (リアルタイム録音の停止中) に、まず AUDITION キーを押しながら ACCENT キーを押して、データ表示セクションに現在のアクセントデータを表示させます。次に FWD (早送り) キー、BWD (巻戻し) キーを使って、デリートしたいデータの位置までポジションを移動させ、DELETE キーを押しながら ENTER (エンター) キーを押します。

### バックキングのアサイン(割り当て)

完成したユーザーパターンには200種類のバックキングの中から好きなものをアサインすることができます。

1. レコードモードから抜け、1 ページ目の画面 (パターンの選択画面) に戻ります。
2. [◀] カーソルキーを押して、バックキングネームにカーソルを合わせます。
3. [+1] / [-1] キーでバックキングパターンを選択します。

**HINT** [+1]キーを押して“BKOFF”を表示させることにより、バックキングをOFFにすることができます。

**NOTE** 録音中やコピー実行中に“MEMORY FULL”が表示されることがあります。詳細についてはP105の「LCDディスプレイメッセージ」をご覧ください。

**CAUTION** 録音中やクリア、コピーの実行中に電源を切ると、ユーザーデータのすべてが失われることがあります。

### 同時発音数について

RY8の最大同時発音数は28です。複雑な構成のパターンを作って、再生させながらパッドを演奏すると、同時発音数が28音を超え、音が途切れたり発音されなかったりする場合があります。

### データのバックアップ

大事なデータはヤマハMIDIデータファイラーMDF2などの外部機器に保存されることをおすすめします。



# ソングモード(SONG)

※各モードへの入り方とモード内のページを開く操作をマスターしてからお読みください。(→P62)

このモードにはさらにソングプレイモードとソングレコードモードがあります。

ソングプレイモード-----ソングの選択/演奏に関するモードです

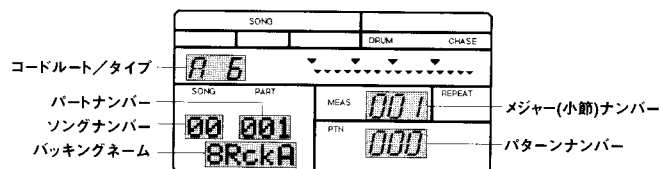
ソングプレイモードを選択しているときは、LCDの左上に小さく“SONG”が表示されます。

ソングレコードモード-----ソングの録音/編集に関するモードです

ソングレコードモードを選択しているときは、LCDの左上に小さく“SONG” “RECORD”が表示されます。

## ソングプレイモード

### ■ ソングの選択.....1ページ目の画面



1. LCDの“SONG”表示にカーソルが合っている (点滅している) ことを確認します。  
“SONG”表示が点滅していない場合は、[◀] カーソルキーを1、2回押してカーソルを“SONG”に合わせてください。

**NOTE** この画面を表示させたときは、“SONG”表示にカーソルが合っています。

2. [+1] キーまたは [-1] キーを押して演奏/録音したいソングナンバーを選びます。  
ソングナンバーを選ぶと、そのソングの1小節目のパターンナンバー、バックキングネーム、コードが表示されます。

選択できるナンバー：

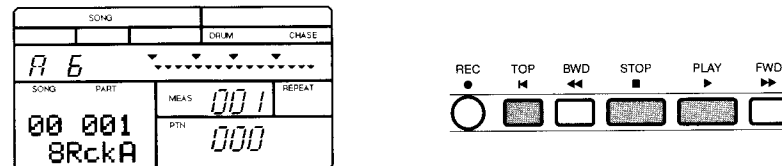
00~49 (50タイプのさまざまなソングがプリセットされています。)

50~99 (50種類のオリジナルソングを録音するためのエリアです。何もデータが入っていないときはパターンナンバーとバックキングネームは“---”で表示されます。)

DEMO (ソングナンバー 99の次がデモソングです。)

**NOTE** ソングナンバーは演奏がストップしているときに、選択することができます。

### ■ ソングの演奏.....1ページ目の画面



1. PLAY (プレイ) キーを押すと、ソング演奏がスタートします。
2. STOP (ストップ) キーを押すと、ソング演奏がストップします。
3. PLAY キーをもう一度押すと、ソング演奏が停止した位置から始まります。
4. 演奏停止中に TOP (トップ) キーを押すと、ソングを先頭に戻すことができます。

**HINT** ソング演奏に合わせてドラムパッドによる演奏が楽しめます。

**NOTE** LCDの右上にはビート/ポジションインディケータが表示され、現在のクロックポジションが点滅します。詳しくはP64をご覧ください。また、演奏中にはソングの進行に合わせてパート/メジャー (小節) ナンバー/コード表示が変化していきます。

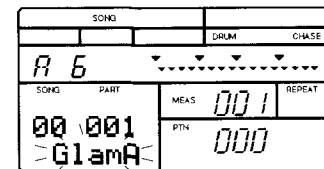
### パート(小節)の指定

1. 演奏停止中に FWD (早送り) キーを押して特定のパートへ進めます。(または BWD (巻戻し) キーを押して、特定のパートまで戻します。)
2. PLAY キーを押すと、進めた (または戻した) 小節から演奏をスタートすることができます。

**NOTE** BWD/FWDキーは、それぞれ押すごとに1小節ずつ戻したり進めたりすることができます。また、どちらのキーも押し続けると速く移動させることができます。

### バックキングの変更

演奏中/停止中を問わず、リズムパターンを変えずにバックキングだけを変更することができます。

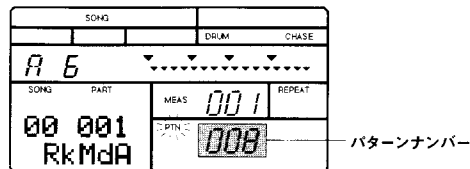


1. [◀] / [▶] カーソルキーを押して、バックキングネームにカーソルを合わせます。
2. [+1] / [-1] キーで別のバックキングを選択します。  
次の小節の先頭から選んだバックキングの演奏に変わります。

**HINT** [+1] キーを押し続けて“BKOFF” (バックキングオフ) を表示させることにより、バックキングを一度にオフにすることができます。リズムだけを鳴らしたい場合に便利です。また、バックキングの構成音(コード1、コード2、ベース)を個別にミュート (消音) することもできます。(→P102)

## パターンの変更

演奏中／停止中を問わず、パターンを変更することができます。

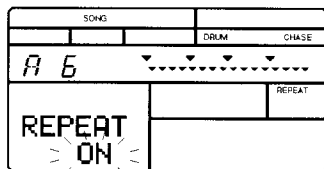


1. [◀] / [▶] カーソルキーを押して、“PTN” (パターン) にカーソルを合わせます。
2. [+1] / [-1] キーで別のパターンナンバーを選択します。  
次の小節の先頭から選んだパターンの演奏に変わります。

**NOTE** ソングプレイモードでのパターン／バックングの変更はあくまでも一時的なものです。TOP(トップ)キーでソングの先頭に戻したり、BWD(巻戻し)／FWD(早送り)キーでパートを指定した時点で両方とも元の設定に戻ります。一度ソングモードを抜けてからもう一度ソングモードへ入った場合も同様です。

**HINT** ソング演奏時のパターンとバックングの組み合わせを一時的にではなく完全に覚えてしまいたいときは、まず、そのパターンをパターンモードでユーザーパターンにコピーし、好きなバックングをアサインします。でき上がったパターン／バックングを使ってソングを録音します。

## リピートの設定.....2ページ目の画面



リピートは、現在選ばれているソングを繰り返し演奏する機能です。

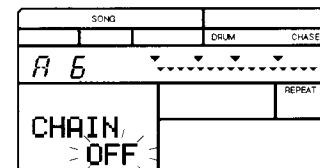
1. リピート機能のページを選ぶと、LCDに“REPEAT”が表示されます。また、その下で“ON”または“OFF”が点滅します。
2. [+1] キーを押すと、リピートがON (オン) になります。
3. [-1] キーを押すと、リピートがOFF (オフ) になります。

設定値：ON (リピート機能オン)、OFF (リピート機能オフ)

**NOTE** リピートがオンに設定されているときは、LCD右に“REPEAT”が小さく表示されます。

**NOTE** リピートをオンに設定すると、どのソングに対してもリピートが有効になります。

## ■ チェーンの設定.....3ページ目の画面



チェーンは、複数のユーザーソングを順番に連続して演奏する機能です。選択されたユーザーソングから演奏を開始し、最後のユーザーソングを演奏した後にストップします。もし、演奏している途中でデータが入っていないソングがあった場合は、そこで演奏を終了します。

1. チェーン機能のページを選ぶと、LCDに“CHAIN”が表示されます。また、その下で“ON”または“OFF”が点滅します。
2. [+1] キーを押すと、チェーンがON (オン) になります。
3. [-1] キーを押すと、チェーンがOFF (オフ) になります。

設定値：ON (チェーン機能オン)、OFF (チェーン機能オフ)

**NOTE** チェーンがオンに設定されているときは、LCD右に“CHAIN”が小さく表示されます。

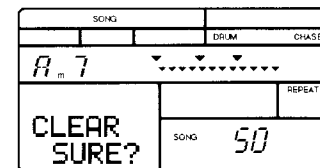
### チェーンとリピート

チェーンとリピートを合わせて使用することができます。この場合、どのユーザーソングから演奏を開始しても、最後のユーザーソングを演奏すると、最初のユーザーソングに戻って繰り返し演奏が続きます。

## ■ ソングのクリア.....4ページ目の画面

(※このページはソング演奏がストップしているときに選ぶことができます。)

不要なユーザーソング (50～99) をソングごとにクリア (消去) することができます。



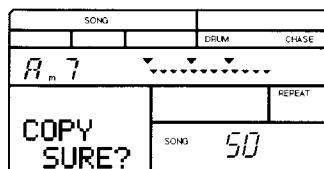
1. ソングクリアのページを選ぶと、LCDに“CLEAR SURE?” (クリアしますか?) が表示されます。
2. [+1] / [-1] キーでクリアしたいユーザーソングナンバーを設定します。
3. ENTER(エンター)キーを押すとクリアが実行され、ソングナンバーの右側に“EMPTY”(空)が表示されます。(MODE(モード)キーを押しながらPAGE(ページ)キーを押してソングクリアから抜けます。)

**NOTE** プリセットソング (00～49) を選んでENTERキーを押しても一瞬“PRESET”が表示されるだけで、クリアは実行されません。正しいナンバー (50～99) を選んでもう一度実行してください。

## ■ ソングのコピー.....5ページ目の画面

(※このページはソング演奏がストップしているときに選ぶことができます。)

プリセットソングや録音済みのユーザーソングをユーザーソング (50~99) へそのままコピーすることができます。あるソングと少しだけ構成が異なるソングを作りたい場合など、まずそのソングをコピーし、少し変更を加えるだけで簡単に新しいソングを作ることができます、便利です。



1. まず、このコピー機能の画面を選ぶ前に、1ページ目の画面 (ソングの選択画面) でコピーしたいソング (コピー元) を選びます。
2. 次にこのページを選びます。LCDに“COPY SURE?” (コピーしますか?) が表示され、右側のソングナンバーが50になります。
3. [+1] / [-1] キーでコピー先となるユーザーソングナンバー (50~99) を設定します。
4. ENTER (エンター) キーを押すとコピーが実行されます。(MODE (モード) キーを押しながらPAGE- (ページ-) キーを押してソングコピーから抜けます。)

**NOTE** コピー元ソングの初期テンポもコピーされます。

**CAUTION** コピーを実行すると、コピー先のソングのデータはすべて書き替えられてしまいます。大事なオリジナルソングを誤って消してしまわないよう注意しましょう。

**NOTE** コピーを実行しようとするとき“MEMORY FULL”が表示されることがあります。詳細についてはP105の「LCDディスプレイメッセージ」をご覧ください。

## ソングレコードモード

RY8では、ソングナンバー50~99を使ってオリジナルソングを50個まで録音することができます。

ソングにはパターン(バックキングを含む)とコード(和音)を録音するための2つの録音トラックが用意されています。パターントラックにはプリセット/ユーザーパターンの中から必要なものを順番に録音します。また、コードトラックでは、曲の進行に合わせてコードチェンジをアサイン(割り当て)します。

ソングの録音方法には次の2通りがあります。

**ステップ録音:** パターンを1パート(1小節)ずつプログラムしていく方法です。また、コードアサイン機能を使ってコードチェンジをクロック単位で細かく入力していくことができます。

**リアルタイム録音:** クリック音に合わせて実際に演奏しながら、パターンを録音していく方法です。

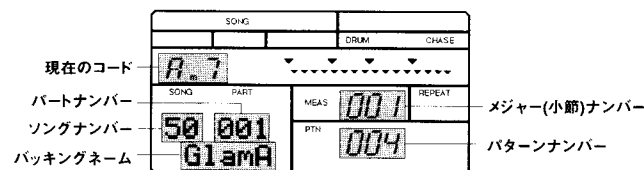
**HINT** プリセットソングと似かよったソングを作りたい場合は、そのプリセットソングをコピーして編集(録音)すると早く手軽に作ることができます。

### 録音の準備(ソングレコードモードに入る)

1. ソングの選択画面でソングナンバー 50~99の中から録音したいナンバーを選びます。

**NOTE** まだデータの入っていない(録音されていない)ソングナンバーのパターンナンバーやバックキックネームには“---”が表示されます。

2. REC (レコード) キーを押すと、LCDの表示が次のようになります。



この状態をソングレコードモードと呼び、ステップ録音もリアルタイム録音もこの状態から始めます。

ソングレコードモードではいつもLCDの左上に“SONG”“RECORD”が小さく表示されます。

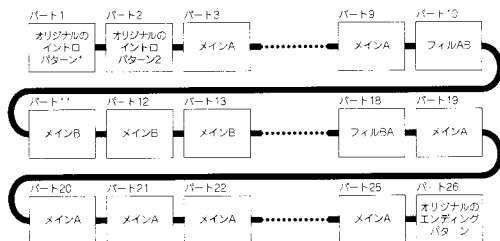
**NOTE** REC キーを押して、LCD上に“PRESET”が表示される場合は、現在プリセットソングが選ばれていることを示します。プリセットソングには録音することはできません。ソングの録音をする場合はユーザーソング (50~99) を選んでください。

**NOTE** もう一度REC キーを押すとソングレコードモードを抜けてソングプレイモード (ソングの選択画面) に戻ります。

## ソング構成例

50種類のプリセットパターンはそれぞれ4つのセクションを持っていますので、うまくつなぎ合わせるだけでスムーズなソングを構成することができます。また、イントロやエンディングのパターンをオリジナルパターンとして録音しておき、ソング構成にうまく組み込むなど(下図参照)、いろいろなアイデアでソング作りをお楽しみください。

**NOTE** セクションについてはP63をご覧ください。



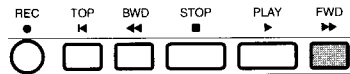
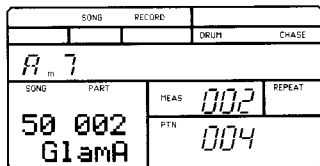
## ■ ステップ録音

ソングレコードモードではいつでもステップ録音を開始できます。LCDを見ながら、1パートずつパターンを選んで入力していきます。

1. [+1] / [-1] キーを使ってパターンを選びます。



2. FWD (早送り) キーを押して、次のパターン入力位置に進めます。



3. 上記1と2の操作を繰り返して、ソングを完成させます。

**NOTE** パターンが入力されたパートのLCDの右上には、ビート/ポジションインディケーターが表示されます。

**HINT** ENTER (エンター) キーで入力すると、パートが自動的に1つ先へ進み、次のパターンの入力待ちの状態になります。連続して同じパターンを入力していく場合は、続けて ENTER キーを押してください。パターンを選ばなくても ENTER キーを押すだけで、同じパターンを次のパートにも入力することができます。

4. ステップ録音を終了したい場合は REC (レコード) キーを押してください。ソングプレイモード (ソングの選択画面) に戻ります。

**NOTE** 録音中はコードチェンジのアサイン (→P83) やパターンのデリート (→P82) / インサート (→P82) などをすることもできます。

## 途中で入力するパターンを間違えた場合(パターンの変更)

ステップ録音の途中で、一度入力したパターンを別のパターンに変更したい場合、BWD (巻戻し) キー、FWD (早送り) キーを使って変更したいパートまで移動し、[+1] / [-1] キーで別のパターンを選び直すだけで簡単にパターンを変更することができます。また、TOP (トップ) キーはソングの先頭へ戻るときに使います。

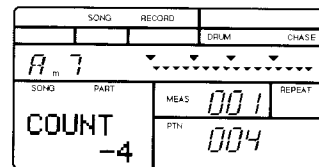
この方法は完全に録音を終了した後でも、ソングレコードモードに入ればいつでも使用することができます。一度作ったソングのアレンジを変える場合にも便利です。

## ■ リアルタイム録音

リアルタイム録音では、クリック音に合わせてパターンを選びながら入力していきます。ソングレコードモードで最初のパターンを選んだ後、PLAY (プレイ) キーを押すことにより、リアルタイム録音が始まります。

**NOTE** RY8 ではソングのリアルタイム録音にリプレイス方式を採用しています。リアルタイム録音を開始すると、そのソングの元のデータは新しいデータに書き換えられます。

1. PLAY (プレイ) キーを押すと、クリック音のカウントが始まります。実際に録音が始まる前に、1小節のカウントイン(-4,-3,-2,-1など)が入ります。カウントの直後からリアルタイム録音がスタートします。



**NOTE** カウントの回数は、現在選ばれているパターンのメーターの設定によって異なります。

2. [+1] / [-1] キーを使って次のパートに入力したいパターンを選びます。
3. [+1] / [-1] キーでパターンを切り替え、タイミングを合わせてパターン演奏しながら録音していきます。

**NOTE** 現在演奏しているパターンが終わるまでは、新たに選択したパターンの演奏は始まりません。LCD には "NEXT" が表示され、次のパターンが待機中であることを示します。現在演奏しているパターンが終わると、パターンナンバーとバックグランドの表示が変わり、次のパターンの演奏が始まります。

**NOTE** 録音中は現在のテンポに合わせてビートインディケーターが点滅します。MODE (モード) キーを押しながら TEMPO (パッド5) を押してテンポが表示に変え、最適なテンポを選ぶことができます。(→P101)

4. STOP (ストップ) キーを押すと、録音が停止します。ポジションインディケーターが、停止した小節の先頭で点滅します。もう一度 PLAY キーを押すと、再びカウントに続けて、停止した小節の先頭からリアルタイム録音が始まります。

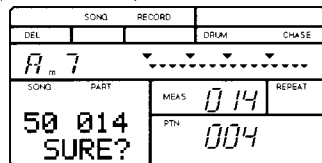
**HINT** ステップ録音による入力方法を使って、誤って入力したパートのパターンを変更することができます。

5. リアルタイム録音を終了したい場合は、一度 STOP キーを押して録音を停止した後、REC (レコード) キーを押してください。ソングプレイモード (ソングの選択画面) に戻ります。

## パターンのデリート(削除)

録音中に誤って入力したパターンや録音済みのソングの中の不要なパターンをパート(1小節)単位で簡単にデリートすることができます。

1. ステップ録音時(リアルタイム録音の停止時)に、MODE(モード)キーを押しながらPAGE+(ページ+)キーを1回押すと、LCDの左上に“DEL”(Delete: デリート)が小さく表示され、左下に“SURE?”(実行しますか?)が表示されます。



2. FWD(早送り)キー、BWD(巻戻し)キーを使ってデリートしたいパートを選択します。
3. ENTER(エンター)キーを押すと、デリートが実行されます。デリートされた位置まで1パートずつ前方にずれて、ソング全体の長さが1パート分(1小節)短くなります。

**NOTE** ENTERキーを押しても、そのパートにパターンがない場合は、LCDに“PART EMPTY”(パートが空です)が表示され、デリートできません。LCDの右上にビート/ポジションインディケーターが表示されないパートにはパターンが入力されていません。パートを選択するときによく確認してください。

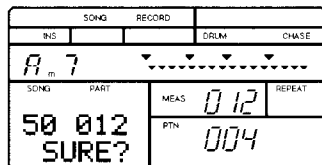
4. 続けて別のパターンをデリートしたい場合は、2、3の操作を繰り返してください。
5. MODEキーを押しながらPAGE-キーを押すと、ソングレコードモードに戻ります。

**NOTE** パターントラックとコードトラックはそれぞれ独立しています。したがって、パターンがデリートされて1パートずつずれても、コードは元のまま変わりません。ソングの構成をよく考えてデリートを実行してください。なお、コードをパート単位でデリートすることもできます(→P84)。

## パターンのインサート(挿入)

録音中や録音済みのソングの途中に新しいパターンを簡単にインサートすることができます。ソングの録音中だけでなく、ソングの構成を変えたりする場合にも、デリートと合わせて使える、便利な機能です。

1. ステップ録音時(リアルタイム録音の停止時)に、MODE(モード)キーを押しながらPAGE+(ページ+)キーを2回押すと、LCDの左上に“INS”(Insert: インサート)が小さく表示され、左下に“SURE?”(実行しますか?)が表示されます。



2. FWD(早送り)キー、BWD(巻戻し)キーを使ってインサートしたいパート位置を選択します。(新しくインサートするパターンは、選択したパートの直前に入ります。)
3. [+1] / [-1] キーを使ってインサートしたいパターンを選択します。
4. ENTER(エンター)キーを押すと、インサートが実行されます。インサートされた位置から1パートずつ後方にずれて、ソング全体の長さが1パート分(1小節)長くなります。
4. 続けて別のパターンをインサートしたい場合は、2、3、4の操作を繰り返してください。
5. MODEキーを押しながらPAGE-キーを2回押すと、ソングレコードモードに戻ります。

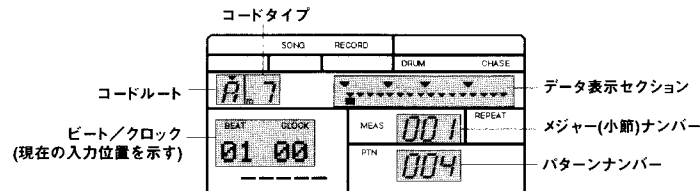
**NOTE** パターントラックとコードトラックはそれぞれ独立しています。したがって、パターンがインサートされて1パートずつずれても、コードは元のまま変わりません。ソングの構成をよく考えてインサートを実行してください。なお、コードをパート単位でインサートすることもできます(→P85)。

## コードチェンジのアサイン

コードチェンジは、コードアサイン画面上で各パターンのクロック単位でアサインすることができます。パターントラックとは別に用意されたコードトラックに入力されます。

**NOTE** 各パターンに設定されたクオンタイズによってコードチェンジデータのクロック(入力位置)数が決まります。

1. ステップ録音時(リアルタイム録音の停止時)にCHORD(コード)キーを押すと、▼マークがコードのルート表示上で点滅し始めます。また、データ入力位置を示すポジションインディケーターがデータ表示セクションで点滅します。



2. FWD(早送り)キー、BWD(巻戻し)キーを使ってコードチェンジを入力したい小節を選択します。選んだ小節の先頭でポジションインディケーターが点滅し、入力待ちの状態となります。

[<] / [>] カーソルキーでカーソルをビート/クロック表示に合わせ(点滅させ)、[+1] / [-1] キーでポジションインディケーターを移動し、クロック単位で入力ポジションを選ぶこともできます。

3. [<] キーを1、2回押して、▼マークをコードのルート表示上に戻し、[+1] / [-1] キーでコードのルート(根音)を指定します。ルート/タイプ表示が点滅状態になります。
4. [>] キーで▼マークをコードのタイプ表示上に合わせ、[+1] / [-1] キーでコードのタイプを選択します。

**NOTE** コードタイプは24種類用意されています。詳しくはP66の「コードタイプリスト」をご覧ください。

5. ENTER(エンター)キーを押すと、現在の小節の選択したポジションにコードチェンジデータが入力され、データ表示セクションに“■”が表示されます。また、LCDの左下に“CHORD”が表示されます。

ビートインディケーターは、1小節を4分音符単位で分割して表示します。



**NOTE** ENTERキーを押しても、そのパートにパターンがない場合は、LCDに“PART EMPTY”(パートが空です)が表示され、入力できません。LCDの右上にビート/ポジションインディケーターが表示されないパートにはパターンが入力されていません。ポジションを選択するときによく確認してください。

6. 同じように2～5の操作を繰り返し、コードを変更したいポジションで次々に入力していきます。
7. もう一度CHORDキーを押すと、コードアサイン画面から抜けソングレコードモードに戻ります。

### クロック単位のコードのデリート(削除)

録音中に誤って入力したコードチェンジデータや録音済みのソングの中の不要なコードチェンジデータをクロック単位で簡単にデリートすることができます。

1. ソングレコードモードのコードアサイン画面で、まずFWD (早送り) キー、BWD (巻戻し) キーを使って、デリートしたいデータのある小節を選びます。
2. [◀] / [▶] カーソルキーでカーソルをビート/クロック表示に合わせ、[+1] / [-1] キーでデリートしたいコードデータの位置を選びます。
3. DELETE (デリート) キーを押しながらENTERキーを押します。入力されているコードチェンジデータをクロック単位でデリートすることができます。

### パート単位のコードのデリート(削除)

録音中に誤って入力したコードチェンジデータや録音済みのソングの中の不要なコードチェンジデータをパート (1小節) 単位で簡単にデリートすることができます。

1. ソングレコードモードのコードアサイン画面で、MODE (モード) キーを押しながらPAGE+ (ページ+) キーを1回押すと、LCDの左上に“DEL”が小さく表示され、左下に“SURE?” (実行しますか?) が表示されます。

SONG		RECORD	
DEL		DRUM	CHASE
A 7		▼	
BEAT	CLOCK	MEAS	REPEAT
01	00	001	
SURE?		PTN	004

2. FWD (早送り) キー、BWD (巻戻し) キーを使ってデリートしたいデータが入力されているパートを選択します。
3. ENTER (エンター) キーを押すと、デリートが実行されます。デリートされた位置まで1パートずつコードチェンジデータが前方にずれます。
4. 続けて別のコードチェンジをデリートしたい場合は、2、3の操作を繰り返してください。
5. MODE キーを押しながらPAGE- キーを押すと、コードアサイン画面に戻ります。

**NOTE** コードトラックとパターントラックはそれぞれ独立しています。したがって、コードチェンジデータがデリートされて1パートずつずれても、パターンは元のまま変わりません。ソングの構成をよく考えてデリートを実行してください。なお、パターンをパート単位でデリートすることもできます (→P82)。

**CAUTION** RY8は50パターン/ソングまでメモリーできるように設計されていますが、メモリー容量を越えて入力することはできません。したがって、メモリー使用量の多いパターン/ソングを入力すると、パターン/ソングに空きナンバーが多数あっても、録音できない場合があります。ご了承ください。

### コードのインサート(挿入)

録音中や録音済みのソングの途中に新しいコードをパート単位で簡単にインサートすることができます。ソングのコード進行やアレンジを変えたりする場合にも、デリートと合わせて使えるたいへん便利な機能です。

1. ソングレコードモードのコードアサイン画面で、MODE (モード) キーを押しながらPAGE+ (ページ+) キーを2回押すと、LCDの左上に“INS”が小さく表示され、左下に“SURE?” (実行しますか?) が表示されます。

SONG		RECORD	
INS		DRUM	CHASE
A 7		▼	
BEAT	CLOCK	MEAS	REPEAT
01	00	005	
SURE?		PTN	004

2. FWD (早送り) キー、BWD (巻戻し) キーを使ってインサートしたいパート位置を選択します。(新しくインサートされるコードは、選択したパートの直前に入ります。)
3. ENTER (エンター) キーを押すと、インサートが実行されます。インサートされた位置から1パートずつコードチェンジデータが後方にずれて、インサート直前までアサインされていた最後のパートのコードは無効になります。
4. 続けて別のコードをインサートしたい場合は、2、3の操作を繰り返してください。
5. MODEキーを押しながらPAGE-(ページ-)キーを2回押すと、コードアサイン画面に戻ります。

**NOTE** コードトラックとパターントラックはそれぞれ独立しています。したがって、コードチェンジデータがインサートされて1パートずつずれても、パターンは元のまま変わりません。ソングの構成をよく考えてインサートを実行してください。なお、パターンをパート単位でインサートすることもできます (→P82)。

### バックングの変更について

ユーザーソングを構成しているさまざまなパターンは、バックングと組み合わせられた状態でアサインされており、バックングだけを変更することはできません。もし、完成したユーザーソングのあるパターンとバックングの組み合わせを変えてしまいたいときは、まず、そのパターンをパターンモードでユーザーパターンにコピーし、変更したいバックングをアサインします。

### 同時発音数について

RY8の最大同時発音数は28です。複雑な構成のパターンを使ったソングを再生させながらドラムパッドをたたいて演奏すると、同時発音数が28音を超え、音が途切れたり発音されなかったりする場合があります。

### データのバックアップ

大事なデータはヤマハMIDIデータファイラー-MDF2などの外部機器に保存されることをおすすめします。

**NOTE** 録音中やコピー実行中に“MEMORY FULL”が表示されることがあります。詳細についてはP105の「LCDディスプレイメッセージ」をご覧ください。

**CAUTION** 録音中やクリア、コピーの実行中に電源を切ると、ユーザーデータのすべてが失われることがあります。

# ドラムキットモード(KIT)

※各モードへの入り方とモード内のページを選ぶ操作をマスターしてからお読みください。(→P62)  
ドラムキットモードを選択しているときは、LCDの右上に小さく“KIT”が表示されます。

このモードはドラムキットに関するさまざまな機能をもっています。ドラムキットはプリセットドラムキットがジャンル別に12グループ、オリジナル用のユーザーキットが別に4グループ用意されています。

**NOTE** ドラムパッドの演奏についてはP62をご覧ください。

## ユーザードラムキットについて

RY8には128種類のさまざまなドラム／パーカッションボイスがありますが、それぞれのボイスは4つのユーザードラムキットごとに各ドラムパッドに自由にアサインして、パターンの演奏や録音に使うことができます。それぞれのドラムパッドにはボリュームレベルやアクセントレベル、ステレオパン、チューンを設定することができます。

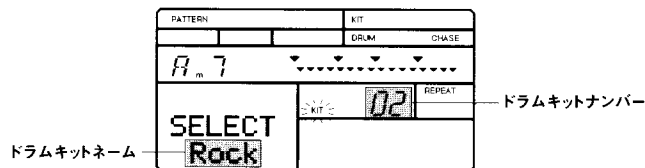
**NOTE** 設定を変更しようとしたときに、LCD上に“PRESET”が表示される場合は、現在プリセットドラムキットが選ばれていることを示しています。プリセットドラムキットでは、(ドラムパッドを押して、各ドラムボイスの確認はできますが、)ドラムボイスを変更することはできません。設定を変更したい場合は、1ページ目の画面(ドラムキット選択画面)でユーザードラムキットを選んでください。

オリジナルのドラムキットを作るには、このモードの1ページ目の画面でユーザードラムキットを選択し、2ページ目の画面でドラムボイスを各ドラムパッドにアサインし、続けて3ページ目から6ページ目までの画面で必要なエディット操作を行います。

**HINT** 7ページ目のコピー機能を使って、プリセットドラムキットをユーザードラムキットにコピーし、それをエディットして新しいドラムキットを作ることもできます。

## ■ ドラムキットの選択.....1ページ目の画面

RY8では16グループのドラムキットの中から好きなものを選ぶことで、ドラムパッドで演奏／録音できるドラムボイスを切り替えることができます。オリジナルのドラムキットを作る場合は、ここでユーザードラムキット(12～15)を選択します。



1. ドラムキット選択のページを選ぶと、LCDの左側に“SELECT”(セレクト)が表示され、その下に現在選択されているドラムキットネームが表示されます。また、右側に“KIT”が小さく点滅し、その隣に現在選択されているドラムキットナンバーが表示されます。

**NOTE** 現在選ばれているドラムキットは、どのパターンが選ばれているかによって決まります。各プリセットパターンはそれぞれ特定のドラムキットを使って作られています。

2. [+1] / [-1] キーを押してドラムキット(00～15)を選択します。ドラムパッドをたたいて、選んだドラムキットのドラムパッドにアサインされているドラムボイスを確認することができます。

## ドラムキット:

00～11(プリセットドラムキット)、12～15(ユーザードラムキット)

16グループのさまざまなドラムキットが用意されています。詳しくはP110の「ドラムキットリスト」をご覧ください。

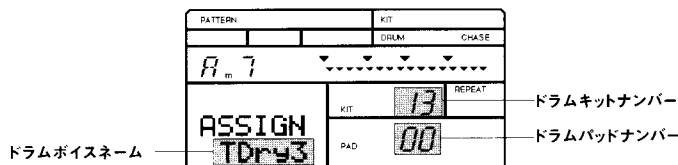
**NOTE** 工場出荷時にはユーザードラムキット12～15は、それぞれプリセットドラムキットの00～03と同じボイスアサインになっています。

**HINT** RY8のパネル上にもドラムキットネームが表示されています。

## ■ ドラムボイスのアサイン(割り当て).....2ページ目の画面

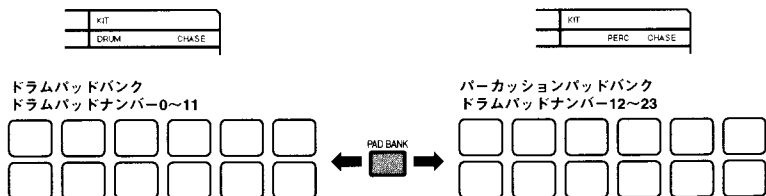
ここではドラムボイスを各ドラムパッドへアサインすることができます。ここでアサインしたドラムボイスのセットがユーザードラムキットのひとつになります。

※ここでドラムボイスのアサインをするためには、このページを選ぶ前に、1ページ目の画面(ドラムキット選択画面)でユーザードラムキット(12～15)を選んでおく必要があります。



1. ドラムボイスアサインのページを選ぶと、LCDの左側に“ASSIGN”(アサイン)が表示され、その下に現在選ばれているドラムパッドにアサインされているボイスネームが点滅します。また、右側には現在選択されているドラムキットナンバーとドラムパッドナンバーが表示されます。
2. ドラムパッドを押して、ドラムボイスをアサインしたいドラムパッドを選択します。LCDに選んだドラムパッドのナンバーと現在のドラムボイスネームが表示されます。

PAD BANK(パッドバンク)キーを押すと、ドラムパッドバンク(ドラムパッドナンバー00～11)とパーカッションパッドバンク(ドラムパッドナンバー12～23)を切り替えることができます。LCDの右上に表示される“DRUM”または“PERC”でどちらのバンクを選んでいるのかを確認できます。



3. [+1] / [-1] キーを押して、ドラムボイスを設定します。ドラムパッドをたたきながら好きな音を選んでください。

#### ドラムボイス：

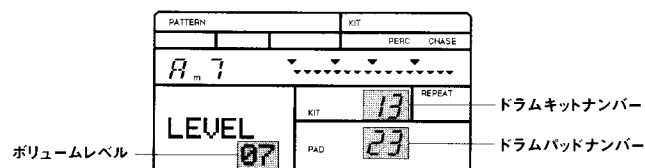
128種類のさまざまなドラムボイスが用意されています。詳しくは、P108の「ドラムボイスリスト」をご覧ください。

4. 同じように手順2,3の操作を繰り返し、他のドラムパッドを選んでドラムボイスをアサインしていきます。

### ■ ボリュームレベルの設定.....3ページ目の画面

ここでは各ユーザードラムキットのドラムパッドごとにボリュームレベルを設定することができます。各ボイスの音量バランスを取ることができます。

※ここでボリュームレベルの設定をするためには、このページを選ぶ前に、1ページ目の画面（ドラムキット選択画面）でユーザードラムキット（12～15）を選んでおく必要があります。



1. ボリュームレベル設定のページを選ぶと、LCDの左側に“LEVEL”（レベル）が表示され、その下に現在選択されているドラムパッドに設定されているボリュームレベルが点滅します。また、右側には現在選択されているドラムキットナンバーとドラムパッドナンバーが表示されます。
2. ドラムパッドを押して、ボリュームレベルを設定したいドラムパッドを選択します。LCDには選んだドラムパッドナンバーと現在のボリュームレベルが表示されます。

**NOTE** ドラムパッドはPAD BANK（パッドバンク）キーによるドラムバンク切り替えによって、24個（ドラムバンク：00～11、パーカッションバンク：12～23）の中から好きなものを選びます。

3. [+1] / [-1] キーを押してボリュームレベルを設定します。ドラムパッドをたたきながら好みのボリュームレベルに合わせてください。

設定値：01～16

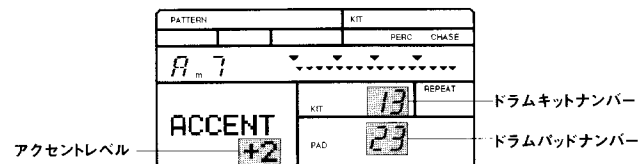
4. 同じように手順2,3の操作を繰り返し、他のドラムパッドを選んでボリュームレベルを設定していきます。

**NOTE** 各ドラムパッドの音量はボリュームレベル+アクセントレベル≤最大値16となります。したがって、ボリュームレベルが最大値の“16”に設定してある場合は、それ以上アクセントを強くつけることはできません。

### ■ アクセントレベルの設定.....4ページ目の画面

ここでは各ユーザードラムキットのドラムパッドごとにアクセントレベルを設定することができます。ここで設定したアクセントレベルがパターン演奏／録音時に有効となります。

※ここでアクセントレベルの設定をするためには、このページを選ぶ前に、1ページ目の画面（ドラムキット選択画面）でユーザードラムキット（12～15）を選んでおく必要があります。



1. アクセントレベル設定のページを選ぶと、LCDの左側に“ACCENT”（アクセント）が表示され、その下に現在選択されているドラムパッドに設定されているアクセントレベルが点滅します。また、右側には現在選択されているドラムキットナンバーとドラムパッドナンバーが表示されます。

2. ドラムパッドを押して、アクセントレベルを設定したいドラムパッドを選択します。LCDには選んだドラムパッドナンバーと現在のアクセントレベルが表示されます。

**NOTE** ドラムパッドはPAD BANK（パッドバンク）キーによるドラムバンク切り替えによって、24個（ドラムバンク：00～11、パーカッションバンク：12～23）の中から好きなものを選びます。

3. [+1] / [-1] キーを押してアクセントレベルを設定します。ACCENTキーを押しながらドラムパッドをたたくと、そのドラムパッドのボイスをアクセントがついた音量で確認できます。

設定値：-7～0（ボリュームレベル値の音量）～+7

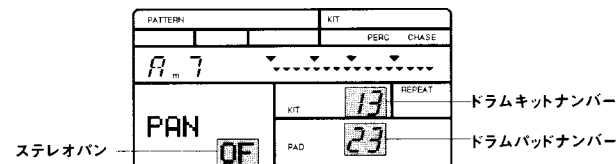
**NOTE** 各ドラムパッドの音量はボリュームレベル+アクセントレベル≤最大値16となります。したがって、ボリュームレベルが最大値の“16”に設定してある場合は、アクセントレベルを+1以上に設定しても効果はありません。

4. 同じように手順2,3の操作を繰り返し、他のドラムパッドを選んでアクセントレベルを設定していきます。

### ■ ステレオパンの設定.....5ページ目の画面

ここでは各ユーザードラムキットのドラムパッドごとにステレオパン（音の定位）を設定することができます。ここでステレオパンを設定することにより、RY8のサウンドをステレオ出力する場合、各ボイスが左右のどの辺から鳴るようになるかを定めることができます。

※ここでステレオパンの設定をするためには、このページを選ぶ前に、1ページ目の画面（ドラムキット選択画面）でユーザードラムキット（12～15）を選んでおく必要があります。



1. ステレオパン設定のページを選ぶと、LCDの左側に“PAN”（パン）が表示され、その下に現在選択されているドラムパッドに設定されているステレオパンの値が点滅します。また、右側には現在選択されているドラムキットナンバーとドラムパッドナンバーが表示されます。



2. ドラムパッドを押して、ステレオパンを設定したいドラムパッドを選択します。LCDには選んだドラムパッドナンバーと現在のステレオパンの値が表示されます。

**NOTE** ドラムパッドはPAD BANK (パッドバンク) キーによるドラムバンク切り替えによって、24個 (ドラムバンク: 00~11、パーカッションバンク: 12~23) の中から好きなものを選びます。

3. [+1] / [-1] キーを押してステレオパンの値を設定します。ドラムパッドをたたきながらボイスのステレオパンの位置を確認することができます。

設定値: -7 (最も左) ~0 (中央) ~+7 (最も右)、OF (初期値)

**NOTE** OF (オフ) を選択すると各ボイスごとの初期設定値に戻すことができます。

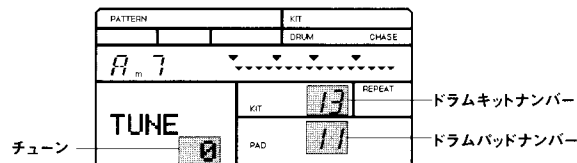
**NOTE** ステレオパンによる音の定位を確認するには、RY8をステレオ出力で接続するか、ヘッドフォンを使用してください。モノラル出力では効果はありません。

4. 同じように手順2,3の操作を繰り返し、他のドラムパッドを選んでステレオパンを設定していきます。

## ■ チューンの設定.....6ページ目の画面

ここでは各ユーザードラムキットのドラムパッドごとにチューニングすることができます。チューンを設定することにより、各ボイスの響きに変化をつけることができます。

※ここでチューンの設定をするためには、このページを選ぶ前に、1ページ目の画面 (ドラムキット選択画面) でユーザードラムキット (12~15) を選んでおく必要があります。



1. チューン設定のページを選ぶと、LCDの左側に「TUNE」(チューン) が表示され、その下に現在選択されているドラムパッドに設定されているチューンの値が点滅します。また、右側には現在選択されているドラムキットナンバーとドラムパッドナンバーが表示されます。

2. ドラムパッドを押して、チューンを設定したいドラムパッドを選択します。LCDには選んだドラムパッドナンバーと現在のチューンの値が表示されます。

**NOTE** ドラムパッドはPAD BANK (パッドバンク) キーによるドラムバンク切り替えによって、24個 (ドラムバンク: 00~11、パーカッションバンク: 12~23) の中から好きなものを選びます。

3. [+1] / [-1] キーを押してチューンの値を設定します。ドラムパッドをたたきながらボイスの音程の変化を確認することができます。

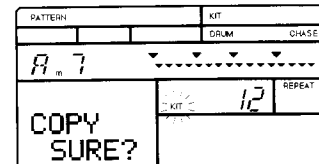
設定値: -7 (最も低い) ~0 (標準) ~+7 (最も高い)

**NOTE** ボイスによってはチューンの効果があまり感じられないものもあります。

4. 同じように手順2,3の操作を繰り返し、他のドラムパッドを選んでチューンを設定していきます。

## ■ ドラムキットのコピー.....7ページ目の画面

プリセットドラムキットや既存のユーザードラムキットをユーザードラムキット (12~15) へそのままコピーすることができます。あるドラムキットを基に別のドラムキットを作りたい場合など、まずそのドラムキットをコピーし、変更を加えるだけで簡単に新しいドラムキットを作ることができ、便利です。



1. まず、このコピー機能の画面を選ぶ前に、1ページ目の画面 (ドラムキット選択画面) でコピーしたいドラムキット (コピー元) を選びます。
2. 次にこのページを選びます。LCDに「COPY SURE?」(コピーしますか?) が表示されます。また、右側に「KIT」が小さく点滅し、その隣にユーザードラムキットナンバー (12~15) が表示されます。
3. [+1] / [-1] キーでコピー先となるユーザードラムキットナンバー (12~15) を設定します。
4. ENTER (エンター) キーを押すとコピーが実行されます。

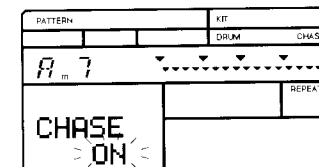
**NOTE** コピー元ドラムキットのアサイン、レベル、アクセント、ステレオパン、チューンがコピーされます。

**CAUTION** コピーを実行すると、コピー先のドラムキットのデータはすべて書き換えられてしまいます。大事なオリジナルドラムキットを誤って消してしまわないよう注意しましょう。

## ■ チェイスの設定.....8ページ目の画面

パターンを、現在選ばれているドラムキットで演奏するか、録音したときに使用したドラムキットで演奏するかを選択します。チェイス機能をオンにすると、パターンが録音したドラムキットで演奏されます。オフの場合は、パターンが現在選ばれているドラムキットで演奏されます。

**NOTE** チェイスの設定はすべてのパターンに共通して機能します。



1. チェイス機能のページを選ぶと、LCDに「CHASE」(チェイス) が表示されます。また、その下に「ON」または「OFF」が点滅します。
2. [+1] キーを押すと、チェイスがON (オン) になります。  
[-1] キーを押すと、チェイスがOFF (オフ) になります。

設定値: ON (チェイス機能オン)、OFF (チェイス機能オフ)

**NOTE** 工場出荷時はチェイス機能はオンになっています。

**NOTE** チェイス機能がオンになっているときは、LCD右上に「CHASE」と小さく表示されます。

# エクスターナルインモード(EXT IN)

※各モードへの入り方とモード内のページを選ぶ操作をマスターしてからお読みください。(→P62)  
エクスターナルインモードを選択しているときは、LCDの右上に小さく“EXT IN”が表示されます。

RY8のEXT IN端子にエレクトリックギターを接続すると、RY8のパターンやソングに合わせてギターを演奏したり、ギターシンセサイザー機能を使って、多彩なノーマルボイスを演奏することができます。その他便利なギターチューナー機能やリモートスタート機能も備えています。

## ギターシンセサイザー機能について

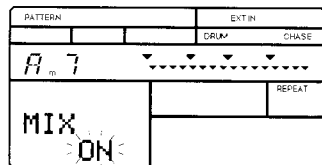
RY8ではEXT IN端子に接続されたエレクトリックギター（ベースギターは除く）の信号によって、50種類のエクスターナルインボイス（ピアノやストリングス、オルガンなど）を演奏することができます。また、シングル、オクターブ、ハーモニー 1/2/3、コードといった演奏タイプにより、さまざまな演奏効果を楽しむことができます。この機能をギターシンセサイザー機能と呼びます。

**NOTE** ギターは単音弾きで入力しますが、出力される音はハーモニーの演奏タイプを選ぶと複音で演奏され、コードの演奏タイプを選ぶと厚みのある豊かなサウンドで演奏されます。

**CAUTION** ギターシンセサイザー機能は、ギターの単音弾きの信号を検出して発音します。複数の弦を同時に演奏すると、信号を検出できなくなります。また、単音弾きの演奏の場合も、弾き方によっては、音が途切れたり、意図しない音程で発音することがあります。

## ■ ミックス機能.....1ページ目の画面

ミックス機能をオンにすると、接続したギターからの入力信号をRY8のパターン/ソングの演奏と一緒にRY8のOUTPUT L/R端子とPHONES端子から出力します。パターン/ソングに合わせてギターの練習をするときなど、外部のミキサーを用意する必要がないのでとても便利です。



1. ミックス機能のページを選ぶと、LCDの左側に“MIX”が表示され、その下に“ON”または“OFF”が点滅します。

2. [+1] キーを押すと、ミックス機能がON (オン) になります。  
[-1] キーを押すと、ミックス機能がOFF (オフ) になります。

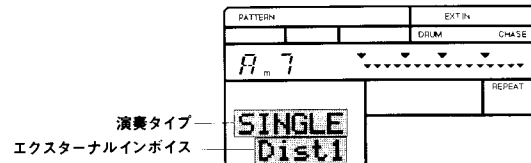
設定値：ON (ミックス機能オン)、OFF (ミックス機能オフ)

**NOTE** ギターシンセサイザー機能を使うときなど、ギター自体のサウンドをRY8から出力したくない場合は、ミックス機能をオフにします。

**NOTE** ギター自体の音量は、ギター本体のボリュームノブで調節してください。

## ■ ギターシンセサイザー機能:エクスターナルインボイスの演奏タイプとボイスの選択.....2ページ目の画面

ここでは、接続したギターによってシンセサイザー演奏をする際の演奏タイプとボイスを設定します。



1. エクスターナルインボイスの演奏タイプとボイスの選択のページを選ぶと、LCDの左側に現在選ばれている演奏タイプ表示 (“SINGLE” や “OCTAVE” など) が点滅し、その下に現在選ばれているエクスターナルインボイスが表示されます。

2. [+1] / [-1] キーを押して演奏タイプを選択します。

演奏タイプ：

- OFF (オフ) エクスターナルインボイスは演奏されません。
- SINGLE (シングル) ギター演奏と同じ音程で単音で演奏されます。
- OCTAVE (オクターブ) ギター演奏と同じ音程と、その音程から1オクターブ下の音程の2音で演奏されます。
- HARM 1/2/3 (ハーモニー 1/2/3) ギター演奏と同じ音程と、現在選ばれているコード(LCDの左上に表示)に合った音程の2音で演奏されます。
- CHORD (コード) ギターのトリガーによって、現在選ばれているコード(LCDの左上に表示) が演奏されます。

3. [▶] カーソルキーを押してエクスターナルインボイスにカーソルを合わせます。

4. [+1] / [-1] キーを押してエクスターナルインボイスを選択します。

エクスターナルインボイス：

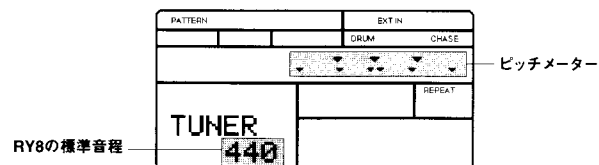
50種類のさまざまなノーマルボイスが用意されています。詳しくはP109の「ノーマルボイスリスト」をご覧ください。

**NOTE** もう一度演奏タイプの表示にカーソルを戻すときは [◀] キーを押します。

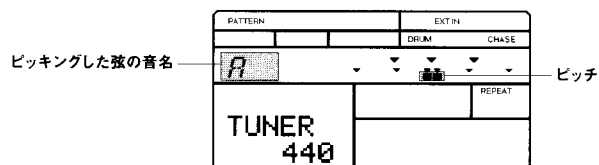
**NOTE** ミックスされるギターのサウンドやエクスターナルインボイスを録音することはできません。

## ■ チューナー機能.....3ページ目の画面

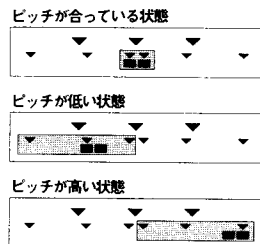
ギター信号のピッチをRY8が自動的に感知してくれる、使いやすいギターチューナーです。



1. チューナー機能のページを選ぶと、LCDの左側に「TUNER」が表示され、その下に現在の標準音程「440」が点滅します。また、右上にはピッチメーターが表示されます。
2. 接続されたギターの開放弦を1本ピッキングします。ピッキングした弦の音名がLCDの左上に表示され、ピッチが右上のピッチメーター上に四角い2つのブロックで表示されます。



3. 四角い2つのブロックがピッチメーターのまん中にある2つの小さい▼の下でぴったり静止するように、ギターの弦を調節します。



4. 同じように手順2,3の操作を繰り返し、他の弦もチューニングしていきます。

### RY8の標準音程を合わせる

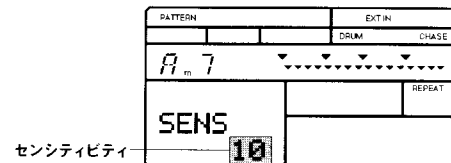
[+1] / [-1] キーを押してチューナーの標準音程を変えることができます。

設定値：440Hz～445Hz (=A)

**NOTE** この標準音程の設定はRY8のシステム全体の設定になります。

## ■ センシビリティ(感度)の調節.....4ページ目の画面

ギターシンセサイザー機能を使用する場合、外部ギター信号に対するエクスターナルインボイスのセンシビリティ(感度)を調節することができます。



1. センシビリティ調節のページを選ぶと、LCDの左側に「SENS」が表示され、その下に現在設定されているセンシビリティ値が点滅します。
2. [+1] / [-1] キーを押してセンシビリティを設定します。ギターで単音をピッキングしながら、最適なポイントを見つけてください。

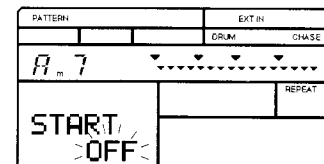
設定値：00～19

**NOTE** ギターシンセサイザー機能が正しく機能しない場合は、このセンシビリティを調節してみてください。また、ご使用のギターによってもそれぞれ特性が異なりますので、ギター側のボリュームレベルやトーンコントロールの設定、ピックアップの設定も変えてみてください。

## ■ リモートスタート機能.....5ページ目の画面

リモートスタート機能をオンにしておくと、ギターのピッキングと同時にパターン/ソングの演奏をスタートさせることができます。パターン/ソングに合わせてのギター練習やパフォーマンスに利用できる実用的な機能です。

1. リモートスタート機能のページを選ぶと、LCDの左側に「START」が表示され、その下に「ON」または「OFF」が点滅します。



2. [+1] キーを押すと、リモートスタート機能がON (オン) になります。  
[-1] キーを押すと、リモートスタート機能がOFF (オフ) になります。

設定値：ON (リモートスタート機能オン)、OFF (リモートスタート機能オフ)

**NOTE** リモートスタートによってパターン/ソング演奏をスタートした場合、演奏をストップするときは通常通りSTOP (ストップ) キーを押してください。

# システムモード(SYSTEM)

※各モードへの入り方とモード内のページを選ぶ操作をマスターしてからお読みください。(→P62)  
システムモードを選択しているときは、LCDの右上に小さく“SYSTEM”が表示されます。

**NOTE** パターン/ソングの演奏中や録音中にはシステムモードに入ることはできません。逆にシステムモードが選ばれているときは、パターン/ソングの演奏をすることはできません。

このモードにはMIDI(ミディ)に関するさまざまな機能があります。

MIDIとは「Musical Instrument Digital Interface」の略で、「楽器間のデジタル通信」という意味です。MIDIは電子楽器やコンピューターなどの間で演奏情報のやりとりを行うための世界的な規格です。RY8はMIDI規格に対応したいろいろな機能もっていますので、他のMIDI楽器やコンピューターとMIDIケーブルで接続し、演奏情報をはじめとするさまざまな情報をやりとりすることができます。

## RY8で送受信できるMIDI情報

MIDIには演奏情報以外にいろいろな種類のMIDI情報があります。

### チャンネルメッセージ

演奏を伝えるための情報です。送信側と受信側でチャンネルを合わせる必要があります。

#### ●ノート情報

演奏情報のことで、RY8には以下の種類があります。

ドラムボイスとエクスターナルインボイス、ハーモニーボイス：  
ノートオン/ノートオフ(送信のみ) / ピッチベンド(送信のみ)

#### ●プログラムチェンジ(受信のみ)

外部機器でRY8のドラムキットの切り替えを行うことができます。

### システムメッセージ

主に機器間の同期についての情報のことで、RY8には以下の種類があります。

#### ●エクスクルーシブメッセージ

バルクデータの送受信を行うことができます。

#### ●コモンメッセージ

演奏中以外のときにシステムを管理するための情報で、機器間でソングを選ぶ(ソングセレクト)ことができます。

#### ●リアルタイムメッセージ

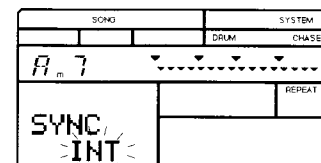
演奏の同期を管理する情報で、機器間で、演奏のタイミングを同期させたり(クロック)、演奏をスタート/ストップ/コンティニュースタートさせる(コマンド)ことができます。

#### ●アクティブセンシング

機器間の接続にトラブルが起きていないかどうかを監視する情報です。

## MIDIシンクの設定.....1ページ目の画面

MIDIシンクは、シーケンサーなどの外部MIDI機器とRY8を同期演奏させる機能です。外部のMIDI機器でRY8の演奏のスタート/ストップ、テンポをコントロールしたり、逆にRY8側からシーケンサーなどのスタート/ストップ、テンポをコントロールすることができます。



1. シンク機能のページを選ぶと、LCDに“SYNC”が表示されます。また、その下で現在のシンクの設定が点滅します。

2. [+1] / [-1]キーを押して“MIDI”(外部MIDIクロック)または“INT”(内部クロック)を設定します。

#### 設定値:

INT(RY8で外部MIDI機器の演奏のスタート/ストップ、テンポをコントロールすることができます。)

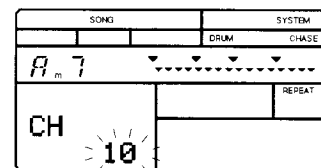
MIDI(外部MIDI機器でRY8のスタート/ストップ、テンポをコントロールすることができます。)

**NOTE** あらかじめ接続する外部MIDI機器側でもMIDIシンクの設定を済ませてください。外部機器の操作については、その機器の取扱説明書をご覧ください。

**NOTE** 外部MIDI機器を使用しない場合はMIDIシンクの設定を“INT”にしておきます。

## MIDI送信/受信チャンネルの設定.....2ページ目の画面

RY8のMIDI送信/受信チャンネルと外部MIDI機器の送信/受信チャンネルを合わせることによって、外部MIDI機器からの演奏情報でRY8のドラムボイスを鳴らしたり、RY8のドラムパッドで外部MIDI音源を演奏したりすることができます。



1. MIDI送信/受信チャンネル設定のページを選ぶと、LCDに“CH”が表示されます。また、その下で現在設定されているMIDI送信/受信チャンネルが点滅します。

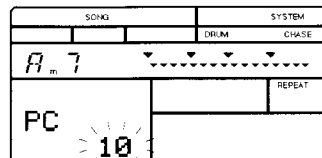
2. [+1] / [-1]キーを押してMIDI送信/受信チャンネルを設定します。

設定値: 01~16、OF(オフ)

**NOTE** MIDI信号を送受信しない場合は、この設定を“OF”にします。

## ■ プログラムチェンジ受信チャンネルの設定.....3ページ目の画面

このチャンネルを外部MIDI機器のチャンネルと合わせておくことによって、外部MIDI機器のプログラムチェンジ情報で、RY8のドラムキットを切り替えることができるようになります。



1. プログラムチェンジ受信チャンネル設定のページを選ぶと、LCDに“PC”が表示されます。また、その下で現在設定されているプログラムチェンジ受信チャンネルが点滅します。

2. [+1] / [-1] キーを押してプログラムチェンジ受信チャンネルを設定します。

設定値：01～16、OF (オフ)

**NOTE** プログラムチェンジ情報を受信しない場合は、この設定を“OF”にします。

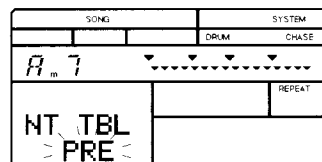
**NOTE** 各ドラムキットのプログラムチェンジナンバーについてはP110の「ドラムキットリスト」をご覧ください。

## ■ ノートテーブルの選択.....4ページ目の画面

RY8では、各ドラムパッドにノートナンバー (鍵盤の番号) がアサイン (割り当て) されており、このノートナンバーアサインのセットをノートテーブルと呼んでいます。

たとえば、外部MIDIキーボードなどでRY8のドラムボイスを演奏する場合、このノートテーブルによって発音されるボイスが決まります。RY8にはプリセットとユーザーの2タイプのノートテーブルがあり、ユーザーノートテーブルには自由にノートナンバーをアサインすることができます。

ここでは使用したいノートテーブルを選ぶことができます。



1. ノートテーブル選択のページを選ぶと、LCDに“NT TBL”が表示されます。また、その下で現在設定されているノートテーブルが点滅します。

2. [+1] / [-1] キーを押してノートテーブルを選択します。

設定値：PRE (プリセットノートテーブル)、USER (ユーザーノートテーブル)

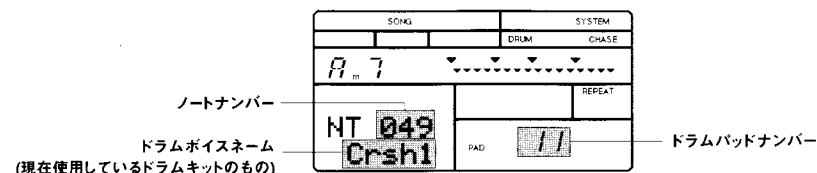
**NOTE** プリセットノートテーブルのノートナンバーアサインについては、P110の「ドラムキットリスト」をご覧ください。

**NOTE** ノートテーブルはシステム全体に共通 (1個) です。

## ■ ノートナンバーのアサイン(割り当て).....5ページ目の画面

ここではノートナンバーを各ドラムパッドへアサインすることができます。ここでアサインしたノートナンバーのセットがユーザーノートテーブルとなります。

※ノートナンバーのアサインをするためには、このページを選ぶ前に、4ページ目の画面 (ノートテーブル選択画面) で“USER” (ユーザーノートテーブル) を選んでおく必要があります。



1. ノートナンバーアサインのページを選ぶと、LCDの左側に“NT”が表示され、その隣に現在選択されているドラムパッドに設定されているノートナンバーが点滅します。また、その下にはそのドラムパッドのボイスネームが、右側には選択されているパッドナンバーが表示されます。

**NOTE** ドラムパッドに現在アサインされているドラムボイスネームは現在使用しているドラムキットによって異なります。

2. ドラムパッドを押して、ノートナンバーをアサインしたいドラムパッドを選択します。

**NOTE** ドラムパッドはPAD BANK (パッドバンク) キーによるバンク切り替えによって、24個 (ドラムバンク：00～11、パーカッションバンク：12～23) の中から好きなものを選べます。

3. [+1] / [-1] キーを押してノートナンバーを設定します。

設定値：000～127、OF (オフ)

4. 同じように手順2,3の操作を繰り返し、他のドラムパッドを選んで必要なノートナンバーを設定します。

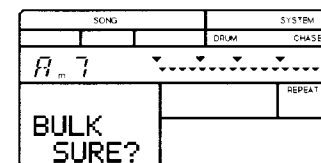
## ■ バルクデータの送信(／受信).....6ページ目の画面

ヤマハMIDIデータファイラーMDF2のような外部機器に、作成したオリジナルパターン／ソングやドラムキットデータを、バルクで (ひとまとめに) 送信して保存することができます。また、逆に外部MIDI機器に保存したデータや別のRY8のデータをバルクで読み込むことができます。

※あらかじめ外部MIDI機器とバルクデータの送信／受信ができるようにセットアップしておきます。

**NOTE** 外部MIDI機器のセットアップについては、その機器の取扱説明書をご覧ください。

### バルクデータの送信



1. バルクデータ送信のページを選ぶと、LCDに“BULK SURE?” (バルクデータを送信しますか?) が表示されます。
2. ENTER (エンター) キーを押します。バルクデータが送信されます。LCDに“BULK SEND” (バルク送信) が表示された後、“END” (終了) が表示されて終了します。

## バルクデータの受信

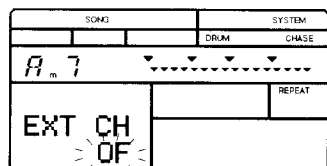
1. パターンまたはソングの選択画面 (それぞれのモードのメイン画面) を選び、演奏をストップしておきます。
2. 外部MIDI機器からバルクデータを送信すると、RY8は自動的にバルクデータを受信します。受信中は“RECEIV BULK”がLCDに表示されます。

**NOTE** 外部MIDI機器のバルクデータ送信の操作については、その機器の取扱説明書をご覧ください。

## ■ エクスターナルインボイス送信チャンネルの設定.....7ページ目の画面

RY8のエクスターナルインボイス送信チャンネルと外部MIDI機器の受信チャンネルを合わせることによって、RY8のEXT IN端子に接続したギターで外部MIDI音源を演奏することができます。

**NOTE** 入力されたギター信号を内部的にMIDIノート情報に変換して送信します。



1. エクスターナルインボイス送信チャンネル設定のページを選ぶと、LCDに“EXT CH”が表示されます。また、その下で現在設定されているエクスターナルイン送信チャンネルが点滅します。

2. [+1] / [-1] キーを押してエクスターナルイン送信チャンネルを設定します。

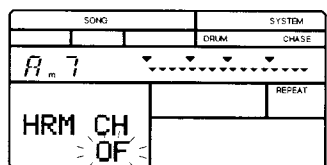
設定値：01～16、OF (オフ)

**NOTE** EXT IN端子に接続したギターで外部MIDI音源を演奏しない場合は、この設定を“OF”にします。

## ■ ハーモニーボイス送信チャンネルの設定.....8ページ目の画面

RY8のハーモニーボイス送信チャンネルと外部MIDI機器の受信チャンネルを合わせることによって、RY8のEXT IN端子に接続したギター演奏によるハーモニーボイス (HARM1/2/3 P93参照) を外部MIDI音源で鳴らすことができます。

**NOTE** 内部的に自動検出されたハーモニーのMIDIノート情報が送信されます。



1. ハーモニーボイス送信チャンネル設定のページを選ぶと、LCDに“HRM CH”が表示されます。また、その下で現在設定されているハーモニー送信チャンネルが点滅します。

2. [+1] / [-1] キーを押してハーモニー送信チャンネルを設定します。

設定値：01～16、OF (オフ)

**NOTE** ハーモニーのMIDIノート情報を送信しない場合は、この設定を“OF”にします。

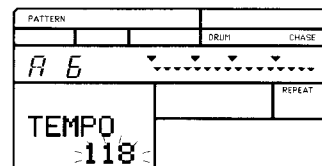
**NOTE** エクスターナルインボイス/ハーモニーボイスのピッチベンドレンジは12 (±1オクターブ) です。受信する外部機器も同じ設定にしてください。

# テンポモード(TEMPO)

※各モードへの入り方をマスターしてからお読みください。(→P62)

このモードではパターン/ソングのテンポ(速さ)を設定します。

**NOTE** テンポは演奏中/停止中に問わず、いつでも設定することができます。



## ■ テンポの設定

1. テンポを設定したいパターンまたはソングを選択した後、このテンポモードに入ります。LCDに“TEMPO”が表示され、現在のテンポが点滅します。

2. [+1] / [-1] キーを押して、好きなテンポを設定します。

設定値：40～250

**NOTE** プリセットのパターン/ソングはそれぞれ固有のテンポ (初期テンポ) を持っています。したがってここでの設定は一時的なものであり、他のパターン/ソングを選んだ時点で元の初期テンポに戻ってしまいます。また、ユーザーパターン/ソングの場合は、ここで設定したものがそれぞれの初期テンポとなります。

**NOTE** RY8のMIDIクロックが“MIDI”にセットされている場合、LCDには“---”が表示され、テンポを設定することはできません。MIDIクロックについてはP97をご覧ください。

## ミュートモード(MUTE)

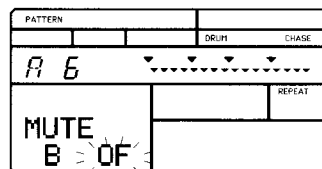
※各モードへの入り方とモード内のページを選ぶ操作をマスターしてからお読みください。(→P62)

このモードではバックキングを構成するベース、コード1、コード2の音を個別にミュートする(発音しないようにする)ことができます。

各構成音をオン/オフしてバックキングに変化をつけたり、コードをミュートしてギターシンセサイザー演奏を楽しんだり、コードカッティングの練習に使ったりすることができます。

**NOTE** ミュートの設定はすべてのバックキングに共通して機能します。

**NOTE** ミュートは演奏中/停止中に関わりなく、いつでも設定することができます。



### ■ ミュートの設定

1. ミュートを設定したい構成音のページを選びます。LCDに“MUTE”が表示されます。また、その下に現在選ばれている構成音 (B=ベース、C1=コード1、C2=コード2) が表示され、その隣でOF (=OFF) またはONが点滅します。
2. [+1] キーを押すと、ミュートがON (オン) になり発音されなくなります。  
[-1] キーを押すと、ミュートがOFF (オフ) になり発音されます。

設定値：

各ページごとに

ON (音が出ない状態)、OFF (音が出る状態)

**NOTE** どれか1つにでもミュートONが設定されているときは、LCD右端に“MUTE”と小さく表示されます。

**NOTE** EXT INに接続したギターによって鳴らされているボイスは、ここで設定された各ミュートの影響を受けません。

## バランスモード(BALANCE)

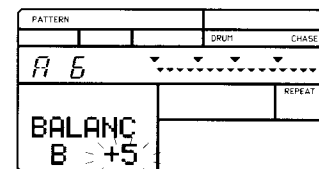
※各モードへの入り方とモード内のページを選ぶ操作をマスターしてからお読みください。(→P62)

このモードではバックキングを構成するベース、コード1、コード2、エクスターナルインボイスおよびそのハーモニーボイスの出力レベルを個別に調節することができます。

音を聞きながら音量バランスをとることができるので、自分好みのバックキングサウンドを簡単に作り出すことができます。

**NOTE** バランスの設定はすべてのバックキングに共通して機能します。

**NOTE** バランスは演奏中/停止中に関わりなく、いつでも設定することができます。



### ■ バランスの設定

1. バランスを設定したい構成音のページを選びます。LCDに“BALANC”が表示されます。また、その下に現在選ばれている構成音 (B=ベース、C1=コード1、C2=コード2、EXT=エクスターナルインボイス、HRM=ハーモニーボイス) が表示され、その隣で現在の音量バランスが点滅します。
2. [+1] キーを押すごとに音量バランスが高くなります。  
[-1] キーを押すごとに音量バランスが低くなります。

設定値：

各ページごとに

-7 (最小) ~ +7 (最大)

**NOTE** ミックス機能をオンにした時のギター自体の音量バランスは、ギター本体のボリュームノブで調節してください。

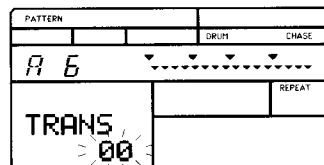
# トランスポーズモード(TRANPOSE)

※各モードへの入り方をマスターしてからお試しください。(→P62)

このモードではバックイングの構成音全体(コード1、コード2、ベース)に半音単位でトランスポーズを設定することができます。

**NOTE** トランスポーズの設定はすべてのバックイングに共通して機能します。

**NOTE** トランスポーズは演奏中/停止中に問わず、いつでも設定することができます。



## トランスポーズの設定

- トランスポーズモードを選択すると、LCDに“TRANS”が表示されます。また、その下で現在のトランスポーズ値が点滅します。
- [-1] / [+1] キーを押して、トランスポーズの値を設定します。

設定値：-12 (1 オクターブ下) ~00 (元の音程) ~+12 (1 オクターブ上)

**NOTE** EXT INに接続したギターによって鳴らされているボイスは、ここで設定されたトランスポーズの影響を受けません。

# 資料編

## LCDディスプレイメッセージ

<b>BACKUP ERROR</b>	乾電池が切れている(またはセットされていない)状態で、RY8の電源スイッチをオンにすると表示されます。メモリーが初期化(工場出荷時の状態)され、すべてのユーザーデータは失われます。RY8では乾電池が入っている場合、または電源アダプターが接続されている場合、メモリーのバックアップが行われます。
<b>BATT LOW</b>	使用中の乾電池が消耗すると表示されます。速やかに乾電池6本すべてを新しいものと交換してください。
<b>BUFFER FULL</b>	RY8に入ってくるMIDIデータの量が、RY8の処理能力を越えたときに表示されます。RY8に不要なデータはなるべく送らないようにしてください。
<b>BULK SEND</b>	MIDIバルクデータを外部機器へ送信しているときに表示されます。
<b>DATA ERROR</b>	RY8にMIDIで送られてきたバルクデータがRY8で処理できないデータだったことを示しています。相手の機種やデータの種類を確認してください。
<b>END</b>	指定された作業が終了したときに表示されます。
<b>MEMORY FULL</b>	RY8のメモリー残量が足りないとき、これ以上入力できないことを示しています。余分なパターンやソングのデータを削除してください。
<b>MIDI ERR1</b>	MIDI受信時にオーバーランエラーが発生したときに表示されます。双方の機器の設定やケーブルの接続などを確認してください。
<b>MIDI ERR2</b>	MIDI受信時にフレーミングエラーが発生したときに表示されます。双方の機器の設定やケーブルの接続などを確認してください。
<b>NOT EMPTY</b>	データの入っているパターンのメーターを変更しようとしたときに表示されます。パターンをクリアしてから、もう一度操作を行ってください。
<b>PART EMPTY</b>	ソングモードでデータが入っていないパートを選択し、デリートやインサートを実行しようとしたときに表示されます。
<b>PRESET</b>	プリセットのパターン、ソング、ドラムキットのパラメーターを変更しようすると表示されます。
<b>RECEIV BULK</b>	MIDIバルクデータを外部機器から受信しているときに表示されます。
<b>TIME OVER</b>	バルクデータが途中でしか受信されず、アクティブセンシングが途切れたときに表示されます。
<b>TS NOT MATCH</b>	コピー元とは異なる拍子のパターンへコピーしようとしたときに表示されます。



## ■ 故障かなと思ったら

症状	考えられる原因
電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電源アダプターが完全に差し込まれていますか？(電源アダプター未セット時)</li> <li>●乾電池は入っていますか？</li> <li>●乾電池の向きはあっていますか？</li> </ul>
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ボリュームスライダーは上がっていますか？ボリュームスライダーはOUT PUT L/R端子、PHONES端子からの出力を調節します。</li> <li>●外部機器は正しく接続されていますか？また、外部機器のボリュームは上がっていますか？</li> <li>●ドラムパッドのボリュームレベルが0になっていませんか？(→P88)</li> <li>●バックキングの音量バランスが下がっていませんか？(→P103)</li> <li>●バックキングがミュートされていませんか？(→P102)</li> <li>●データが入っていないパターンやソングを選んでいませんか？</li> </ul>
音が歪む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●RY8に接続したスピーカーやケーブルは良好ですか？外部機器とケーブルをチェックしてください。</li> <li>●RY8のボリュームレベルが大き過ぎませんか？RY8を外部機器と接続して使用している場合、RY8のボリュームレベルを上げ過ぎると、サウンド機器の入力に負荷がかかり過ぎて音が歪むことがあります。適当な音量に調整してください。</li> </ul>
パッドの音が出てもパターンやソングの演奏ができない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●現在システムモードを選んでいませんか？システムモードを選んでいるときは、パターンやソングの演奏はできません。</li> <li>●MIDIシンクの設定が“MIDI”になっていませんか？RY8を外部MIDI機器のクロックに同期させない場合は、MIDIシンクを“INT”に設定してください。(→P97)</li> </ul>
システムモードに入れない。	パターンレコードモード(またはソングレコードモード)の状態ではありませんか？RECキーを押してパターンブレイモード(ソングブレイモード)に戻り、それからシステムモードを選んでください。
メーターを設定できない。	録音済みのパターンを選んでいませんか？一度録音されたユーザーパターンのメーターを変更することはできません。パターンをクリアした後、もう一度試してください。
音程がおかしい。	トランスポーズがかかっていますか？トランスポーズ値を標準音程に戻してください。(→P104)
音が途切れる。	全体の発音数が、最大同時発音数の28音を越えていませんか？(→P85)
EXT INに接続したギターの音が鳴らない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●接続したギター自体のボリュームが下がっていませんか？</li> <li>●ミックス機能はオンになっていますか？(→P92)</li> </ul>
エクスターナルインボイスが鳴らない。または変な音で鳴る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●演奏タイプ(シングル、ハーモニーなど)をオフにしていますか？(→P93)</li> <li>●ギターを単音で弾いていますか？RY8のギターシンセサイザー機能は、ギターの単音弾きの信号を検出して発音します。複数の弦を同時に演奏すると、信号を検出できなくなります。</li> <li>●センシティビティがうまく調節されていますか？センシティビティの調節(→P95)と同時に、お使いのギターのボリューム、トーンコントロール、ピックアップの設定も調節してみてください。</li> </ul>
RY8がMIDIコントロールに反応しない。	RY8のMIDIチャンネルは外部MIDI機器のMIDIチャンネルと合っていますか？MIDI送信/受信チャンネル(→P97)、プログラムチェンジ受信チャンネル(→P98)、エクスターナルインボイス送信チャンネル(→P100)、ハーモニーボイス送信チャンネル(→P100)の4つのチャンネル設定をチェックしてください。

## ■ 仕様

音源	方式：AWM (アドバンスドウェーブメモリー) 同時発音数：28音 音色数：128ドラムボイス、50ノーマルボイス
パターン	パターンブレイ(パターン：200プリセット、50ユーザー；200バックキング；スイング、クリア、コピー)、パターンレコード(メーター)、分解能(レコード：4分音符/8；ブレイ：4分音符/24)
ソング	ソングブレイ(ソング：50プリセット、50ユーザー；リピート、チェーン、クリア、コピー)、ソングレコード(パート、メジャー、パターン、デリート、インサート、コードセレクト)
ドラムキット	ドラムキット(12プリセット、4ユーザー)、キットセレクト、パッドアサイン、パッドレベル、アクセント、パン、チェーン、コピー、チェイス；12ドラムパッド、2パッドバンク(ドラム、パーカッション)
エクスターナルイン	ミックス、演奏タイプ/ボイス(6演奏タイプ、50ボイス)、ギターチューナー、センシティビティ、スタート
システム	MIDIシンク、MIDIチャンネル、MIDIプログラムチェンジ受信チャンネル、ノートテーブル/ノートナンバー、バルクデータ送信/受信、エクスターナルインボイス送信チャンネル、ハーモニーボイス送信チャンネル
テンポ	40~250
ミュート	ベース、コード1、コード2
バランス	ベース、コード1、コード2、エクスターナルイン、ハーモニー
トランスポーズ	-12~+12(半音単位)
コントロール	RECキー、TOPキー、BWDキー、STOPキー、PLAYキー、FWDキー、ACCENTキー、MODEキー、DELETEキー、AUDITIONキー、CHORDキー、PAD BANKキー、ドラムパッド×12、ENTERキー、[-1]/[+1]キー、[◀]/[▶]キー、VOLUMEスライダー、POWERスイッチ、LCDスクリーン
接続端子	OUT PUT端子(L/MONO、R)、MIDI端子(IN、OUT)、EXT IN端子、DC IN端子、PHONES端子
電源	単3乾電池×6、または電源アダプター(別売 PA-3 or PA-1B)
消費電力	3.5W
出力インピーダンス	ライン：1kΩ；ヘッドフォン：47Ω
外形寸法	188(W)×104(D)×33(H)mm
重量	360g(乾電池を除く本体のみ)
付属品	取扱説明書、保証書、マンガン乾電池単3×6本

・仕様および外観は改良のため予告なく変更する場合があります。

**CAUTION** RY8は50パターン/ソングまでメモリーできるように設計されていますが、メモリー容量を越えて入力することはできません。したがって、メモリー使用量の多いパターン/ソングを入力すると、パターン/ソングに空きナンバーが多数あっても、録音できない場合があります。ご了承ください。

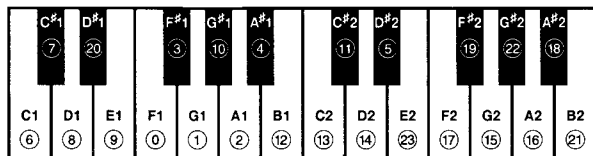
## ■ ドラムボイスリスト

NO.	LCD 表示	ドラムボイスネーム	NO.	LCD 表示	ドラムボイスネーム	NO.	LCD 表示	ドラムボイスネーム
1	KLite	BD Light	44	Ride1	Ride Cymbal 1	87	TElc5	Tom Electronic 5
2	KDry	BD Dry	45	Ride2	Ride Cymbal 2	88	TElc6	Tom Electronic 6
3	KTite	BD Tight	46	RdCup	Ride Cymbal Cup	89	Clap	Hand Clap
4	KJaz1	BD Jazz 1	47	Crsh1	Crash Cymbal 1	90	Tmbrn	Tambourine
5	KJaz2	BD Jazz 2	48	Crsh2	Crash Cymbal 2	91	Cowbl	Cowbell
6	KRock	BD Rock	49	Splsh	Splash Cymbal	92	Vibra	Vibraslap
7	KGate	BD Gate	50	Chins	Chinese Cymbal	93	BongH	Bongo High
8	KAna1	BD Analog 1	51	CymFx	Cymbal SFX	94	BongL	Bongo Low
9	KAna2	BD Analog 2	52	Revrs	Reverse Cymbal	95	CongM	Conga High Mute
10	KAna3	BD Analog 3	53	TDry1	Tom Dry 1	96	CongH	Conga High Open
11	SDeep	SD Deep	54	TDry2	Tom Dry 2	97	CongL	Conga Low
12	STite	SD Tight	55	TDry3	Tom Dry 3	98	TmblH	Timbale High
13	SRom1	SD Room 1	56	TDry4	Tom Dry 4	99	TmblL	Timbale Low
14	SRom2	SD Room 2	57	TDry5	Tom Dry 5	100	AgogH	Agogo High
15	SORim	SD Open Rim	58	TDry6	Tom Dry 6	101	AgogL	Agogo Low
16	SPicl	SD Piccolo	59	TPwr1	Tom Power 1	102	Cabas	Cabasa
17	SHRim	SD High Rim	60	TPwr2	Tom Power 2	103	Marac	Maracas
18	SLite	SD Light	61	TPwr3	Tom Power 3	104	WhslS	Samba Whistle Short
19	SDry	SD Dry	62	TPwr4	Tom Power 4	105	WhslL	Samba Whistle Long
20	SRock	SD Rock	63	TPwr5	Tom Power 5	106	GuirS	Guiro Short
21	SPRim	SD Power Rim	64	TPwr6	Tom Power 6	107	GuirL	Guiro Long
22	SPwr1	SD Power 1	65	TJaz1	Tom Jazz 1	108	Clave	Claves
23	SPwr2	SD Power 2	66	TJaz2	Tom Jazz 2	109	WdBlH	Wood Block High
24	SAmb1	SD Ambient 1	67	TJaz3	Tom Jazz 3	110	WdBlL	Wood Block Low
25	SAmb2	SD Ambient 2	68	TJaz4	Tom Jazz 4	111	CuicM	Cuica Mute
26	SSfx1	SD SFX 1	69	TJaz5	Tom Jazz 5	112	CuicO	Cuica Open
27	SSfx2	SD SFX 2	70	TJaz6	Tom Jazz 6	113	TriM	Triangle Mute
28	SAna1	SD Analog1	71	TBrS1	Tom Jazz 1	114	TriO	Triangle Open
29	SAna2	SD Analog2	72	TBrS2	Tom Jazz 2	115	Shakr	Shaker
30	BrTap	Brush Tap	73	TBrS3	Tom Jazz 3	116	Casta	Castanet
31	BrSlp	Brush Slap	74	TBrS4	Tom Jazz 4	117	Stick	Sticks
32	BrSw1	Brush Swirl 1	75	TBrS5	Tom Jazz 5	118	AnCow	Analog Cowbell
33	BrSw2	Brush Swirl 2	76	TBrS6	Tom Jazz 6	119	AnCgH	Analog Conga High
34	Rim	Side Stick Rim	77	TAna1	Tom Analog 1	120	AnCgM	Analog Conga Mid
35	RimAn	Analog Rim	78	TAna2	Tom Analog 2	121	AnCgL	Analog Conga Low
36	HClS1	Hi-Hat Closed 1	79	TAna3	Tom Analog 3	122	AnClv	Analog Claves
37	HClS2	Hi-Hat Closed 2	80	TAna4	Tom Analog 4	123	HighQ	High Q
38	HQtrO	Hi-Hat Quarter Open	81	TAna5	Tom Analog 5	124	ScrH	Scratch High
39	HOpen	Hi-Hat Open	82	TAna6	Tom Analog 6	125	ScrL	Scratch Low
40	HPedl	Hi-Hat Pedal	83	TElc1	Tom Electronic 1	126	Fingr	Finger Shortnap
41	HCAAn1	HH Analog Closed 1	84	TElc2	Tom Electronic 2	127	ClckH	Click High
42	HCAAn2	HH Analog Closed 2	85	TElc3	Tom Electronic 3	128	ClckL	Click Low
43	HOAna	HH Analog Open	86	TElc4	Tom Electronic 4			

## ■ ノーマルボイスリスト

NO.	LCD 表示	ノーマルボイスネーム	NO.	LCD 表示	ノーマルボイスネーム
1	Piano	Grand Piano	26	FiBas	Fretless Bass
2	BrPno	Bright Piano	27	SlBas	Slap Bass
3	EGrnd	E.Grand	28	SyBa1	Synth Bass 1
4	HnkTn	Honky Tonk	29	SyBa2	Synth Bass 2
5	EPno1	E.Piano 1	30	Strg1	Strings 1
6	EPno2	E.Piano 2	31	Strg2	Strings 2
7	EPno3	E.Piano 3	32	SySt1	Synth Strings 1
8	EPno4	E.Piano 4	33	SySt2	Synth Strings 2
9	Clavi	Clavi.	34	OrcHt	Orchestra Hit
10	Vibes	Vibes	35	Brass	Brass
11	Marmb	Marimba	36	SyBr1	Synth Brass 1
12	Kalmb	Kalimba	37	SyBr2	Synth Brass 2
13	Orgn1	Organ 1	38	Sax	Tenor Sax
14	Orgn2	Organ 2	39	SyLd1	Synth Lead 1
15	AcGtr	Acoustic Guitar	40	SyLd2	Synth Lead 2
16	JzGtr	Jazz Guitar	41	SyLd3	Synth Lead 3
17	ClGt1	Clean Guitar 1	42	SyLd4	Synth Lead 4
18	ClGt2	Clean Guitar 2	43	SyPd1	Synth Pad 1
19	MtGt1	Muted Guitar 1	44	SyPd2	Synth Pad 2
20	MtGt2	Muted Guitar 2	45	SyPd3	Synth Pad 3
21	Dist1	Distortion Guitar 1	46	SyPd4	Synth Pad 4
22	Dist2	Distortion Guitar 2	47	SyFx1	Synth FX 1
23	AcBas	Acoustic Bass	48	SyFx2	Synth FX 2
24	FnBas	Fingered Bass	49	SyFx3	Synth FX 3
25	PcBas	Picked Bass	50	SyFx4	Synth FX 4

## ■ ドラムキットリスト



ノートナンバー/ノート					
C#1	D#1	F#1	G#1	A#1	
7	20	3	10	4	
ドラムパッドバンク (ドラムパッドナンバー 0~11)					
0	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11
36 / C1	37 / C*1	38 / D1	40 / E1	44 / G*1	49 / C*2
パーカッションパッドバンク (ドラムパッドナンバー 12~23)					
12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23
58 / A*2	54 / F*2	39 / D*1	59 / B2	56 / G*2	52 / E2

### プリセットドラムキットナンバー/ドラムキットネーム

— ドラムキットナンバー/プログラムチェンジナンバー

#### 0. Stand(ard) (スタンダード)

ドラムパッドバンク					
TDry2	TDry3	TDry5	HCIs1	HOpen	Ride1
KTite	KDry	SRom2	SRom1	HQtrO	Crsh1
パーカッションパッドバンク					
CongM	CongH	CongL	TriM	TriO	RdCup
Shakr	Tmbrn	Clap	Clave	Cowbl	Crsh2

#### 1. Bal(l)ad (バラード)

ドラムパッドバンク					
TDry3	TDry4	TDry6	HCIs1	HOpen	Ride1
KDry	KLite	SDep	Rim	HPedl	Crsh1
パーカッションパッドバンク					
CongM	CongH	CongL	TriM	TriO	RdCup
Shakr	Tmbrn	Clap	Clave	Cowbl	Crsh2

#### 2. Rock (ロック)

ドラムパッドバンク					
TPwr4	TPwr5	TPwr6	HCIs2	HOpen	Ride1
KRock	KDry	SRock	SPRim	HQtrO	Crsh1
パーカッションパッドバンク					
TPwr1	TPwr2	TPwr3	Spish	Chins	RdCup
Shakr	Tmbrn	Clap	Stick	Cowbl	Crsh2

#### 3. Power (パワー)

ドラムパッドバンク					
TPwr2	TPwr3	TPwr5	HCIs1	HOpen	Ride1
KGate	KTite	SPwr1	SAmb2	HQtrO	Crsh1
パーカッションパッドバンク					
HighQ	ScrH	ScrL	AgogH	AgogL	RdCup
Shakr	Tmbrn	Clap	Fingr	Cowbl	Revs

#### 4. R&B (リズム & ブルース)

ドラムパッドバンク					
TDry2	TDry3	TDry5	HCIs1	HOpen	Ride1
KDry	KLite	SORim	SLite	HQtrO	Crsh1
パーカッションパッドバンク					
CongM	CongH	CongL	TmbLH	TmbLL	RdCup
Shakr	Tmbrn	Rim	Clave	Cowbl	Crsh2

#### 5. Funk (ファンク)

ドラムパッドバンク					
TDry2	TDry3	TDry5	HCIs1	HOpen	Ride1
KGate	KDry	SPicl	SHRim	HQtrO	Crsh1
パーカッションパッドバンク					
CongM	CongH	CongL	TriM	TriO	RdCup
Shakr	Tmbrn	Clap	Clave	Cowbl	Crsh2

#### 6. Rap (ラップ)

ドラムパッドバンク					
TPwr2	TPwr3	TPwr5	HCIs2	HOpen	Ride1
KAna3	KAna2	SDry	SSfx1	HQtrO	Crsh1
パーカッションパッドバンク					
HighQ	ScrH	ScrL	TriM	TriO	RdCup
Shakr	Tmbrn	Clap	Fingr	Cowbl	Crsh2

#### 7. Anal(o)g (アナログ)

ドラムパッドバンク					
TAna1	TAna3	TAna4	HCA1	HOAna	Ride2
KAna1	KAna3	SA1	SA2	HCA2	Spish
パーカッションパッドバンク					
AnCgH	AnCgM	AnCgL	ScrH	ScrL	RimAn
Shakr	Tmbrn	Clap	AnClv	AnCow	Fingr

#### 8. Tech(no) (テクノ)

ドラムパッドバンク					
TEic2	TEic3	TEic4	HCIs1	HOpen	Ride2
KAna3	KDry	SA2	SSfx2	HQtrO	Crsh1
パーカッションパッドバンク					
CongM	CongH	CongL	AgogH	AgogL	CymFx
Shakr	Tmbrn	Clap	HighQ	Cowbl	Revs

#### 9. Jazz (ジャズ)

ドラムパッドバンク					
TJaz2	TJaz3	TJaz4	HCIs1	HOpen	Ride1
KJaz2	KJaz1	SRom2	Rim	HPedl	Crsh1
パーカッションパッドバンク					
CongM	CongH	CongL	TriM	TriO	RdCup
Shakr	Tmbrn	SRom1	Clave	Cowbl	Crsh2

#### 10. Brush (ブラッシュ)

ドラムパッドバンク					
TBr2	TBr3	TBr4	HCIs1	HOpen	Ride2
KJaz2	KJaz1	BrTap	BrSw1	HPedl	Crsh1
パーカッションパッドバンク					
CongM	CongH	CongL	GuirS	GuirL	RdCup
Shakr	Tmbrn	BrSlp	BrSw2	Clave	Crsh2

#### 11. Latin (ラテン)

ドラムパッドバンク					
BongH	BongL	Cabas	AgogH	AgogL	Vibra
CuicM	CuicO	TmbLH	TmbLL	Marac	Crsh2
パーカッションパッドバンク					
CongM	CongH	CongL	GuirS	GuirL	WhsLS
Shakr	Tmbrn	Rim	Clave	Cowbl	WhsLL

### ユーザードラムキットナンバー/ドラムキットネーム

#### 12. User00 (ユーザー-00)

ドラムパッドバンク					
パーカッションパッドバンク					

#### 13. User01 (ユーザー-01)

ドラムパッドバンク					
パーカッションパッドバンク					

#### 14. User02 (ユーザー-02)

ドラムパッドバンク					
パーカッションパッドバンク					

#### 15. User03 (ユーザー-03)

ドラムパッドバンク					
パーカッションパッドバンク					

## ■ パターンリスト

### Rock (ロック)

パターン ナンバー	LCD表示	スタイルネーム	セクション
0	8RckA	8-Beat Rock	Main A
1	8RckB		Main B
2	8RckC		Fill AB
3	8RckD		Fill BA
4	GlamA	Glam Rock	Main A
5	GlamB		Main B
6	GlamC		Fill AB
7	GlamD		Fill BA
8	RkMdA	Rock Middle	Main A
9	RkMdB		Main B
10	RkMdC		Fill AB
11	RkMdD		Fill BA
12	MetIA	Heavy Metal	Main A
13	MetIB		Main B
14	MetIC		Fill AB
15	MetID		Fill BA
16	PsycA	Psychedelic	Main A
17	PsycB		Main B
18	PsycC		Fill AB
19	PsycD		Fill BA
20	T-BmIA	T-Beam	Main A
21	T-BmIB		Main B
22	T-BmIC		Fill AB
23	T-BmID		Fill BA
24	BmbrA	Bomber	Main A
25	BmbrB		Main B
26	BmbrC		Fill AB
27	BmbrD		Fill BA
28	SlshA	Slash Metal	Main A
29	SlshB		Main B
30	SlshC		Fill AB
31	SlshD		Fill BA
32	RkShA	Rock Shuffle	Main A
33	RkShB		Main B
34	RkShC		Fill AB
35	RkShD		Fill BA
36	HRBgA	Hard Rock Boogie	Main A
37	HRBgB		Main B
38	HRBgC		Fill AB
39	HRBgD		Fill BA
40	LA-mA	LA Metal Shuffle	Main A
41	LA-mB		Main B
42	LA-mC		Fill AB
43	LA-mD		Fill BA
44	ProgA	Progressive Rock	Main A
45	ProgB		Main B
46	ProgC		Fill AB
47	ProgD		Fill BA

### Ballad (バラード)

パターン ナンバー	LCD表示	スタイルネーム	セクション
48	8BldA	8-Beat Ballad	Main A
49	8BldB		Main B
50	8BldC		Fill AB
51	8BldD		Fill BA

パターン ナンバー	LCD表示	スタイルネーム	セクション
52	16BdA	16-Beat Ballad	Main A
53	16BdB		Main B
54	16BdC		Fill AB
55	16BdD		Fill BA
56	PpBdA	Pop Ballad	Main A
57	PpBdB		Main B
58	PpBdC		Fill AB
59	PpBdD		Fill BA
60	RkBdA	Slow Rock Ballad	Main A
61	RkBdB		Main B
62	RkBdC		Fill AB
63	RkBdD		Fill BA
64	WalzA	Pop Swing Waltz	Main A
65	WalzB		Main B
66	WalzC		Fill AB
67	WalzD		Fill BA

### Pop (ポップ)

パターン ナンバー	LCD表示	スタイルネーム	セクション
68	WestA	West Coast Rock	Main A
69	WestB		Main B
70	WestC		Fill AB
71	WestD		Fill BA
72	LiteA	Light Pop	Main A
73	LiteB		Main B
74	LiteC		Fill AB
75	LiteD		Fill BA
76	JPopA	J - Pop	Main A
77	JPopB		Main B
78	JPopC		Fill AB
79	JPopD		Fill BA
80	AOR A	AOR	Main A
81	AOR B		Main B
82	AOR C		Fill AB
83	AOR D		Fill BA
84	HevyA	Heavy Pop	Main A
85	HevyB		Main B
86	HevyC		Fill AB
87	HevyD		Fill BA
88	RainA	Rain	Main A
89	RainB		Main B
90	RainC		Fill AB
91	RainD		Fill BA
92	DropA	Drop	Main A
93	DropB		Main B
94	DropC		Fill AB
95	DropD		Fill BA
96	DtrtA	Detroit Pop	Main A
97	DtrtB		Main B
98	DtrtC		Fill AB
99	DtrtD		Fill BA
100	FnPpA	Funk Pop	Main A
101	FnPpB		Main B
102	FnPpC		Fill AB
103	FnPpD		Fill BA

### Dance (ダンス)

パターン ナンバー	LCD表示	スタイルネーム	セクション
104	DscoA	Disco	Main A
105	DscoB		Main B
106	DscoC		Fill AB
107	DscoD		Fill BA
108	EuroA	Euro beat	Main A
109	EuroB		Main B
110	EuroC		Fill AB
111	EuroD		Fill BA
112	HousA	House	Main A
113	HousB		Main B
114	HousC		Fill AB
115	HousD		Fill BA
116	Rap A	Rap	Main A
117	Rap B		Main B
118	Rap C		Fill AB
119	Rap D		Fill BA
120	DnceA	Dance Shuffle	Main A
121	DnceB		Main B
122	DnceC		Fill AB
123	DnceD		Fill BA
124	GrndA	Ground beat	Main A
125	GrndB		Main B
126	GrndC		Fill AB
127	GrndD		Fill BA

### R&B (リズム & ブルース)

パターン ナンバー	LCD表示	スタイルネーム	セクション
128	SoulA	Soul	Main A
129	SoulB		Main B
130	SoulC		Fill AB
131	SoulD		Fill BA
132	R&B A	R&B	Main A
133	R&B B		Main B
134	R&B C		Fill AB
135	R&B D		Fill BA
136	FunkA	Funk	Main A
137	FunkB		Main B
138	FunkC		Fill AB
139	FunkD		Fill BA
140	BlusA	Blues Shuffle	Main A
141	BlusB		Main B
142	BlusC		Fill AB
143	BlusD		Fill BA
144	SBlsA	Slow Blues	Main A
145	SBlsB		Main B
146	SBlsC		Fill AB
147	SBlsD		Fill BA

### Rock&Roll (ロックンロール)

パターン ナンバー	LCD表示	スタイルネーム	セクション
148	TwstA	Twist	Main A
149	TwstB		Main B
150	TwstC		Fill AB
151	TwstD		Fill BA
152	50'sA	50's Rock & Roll	Main A
153	50'sB		Main B
154	50'sC		Fill AB
155	50'sD		Fill BA

パターン ナンバー	LCD表示	スタイルネーム	セクション
156	SurfA	Surf	Main A
157	SurfB		Main B
158	SurfC		Fill AB
159	SurfD		Fill BA

### Jazz (ジャズ)

パターン ナンバー	LCD表示	スタイルネーム	セクション
160	BBopA	Be Bop	Main A
161	BBopB		Main B
162	BBopC		Fill AB
163	BBopD		Fill BA
164	JzBdA	Jazz Ballad	Main A
165	JzBdB		Main B
166	JzBdC		Fill AB
167	JzBdD		Fill BA
168	JzWzA	Jazz Walts	Main A
169	JzWzB		Main B
170	JzWzC		Fill AB
171	JzWzD		Fill BA
172	FusnA	Fusion	Main A
173	FusnB		Main B
174	FusnC		Fill AB
175	FusnD		Fill BA

### Latin (ラテン)

パターン ナンバー	LCD表示	スタイルネーム	セクション
176	SalsA	Salsa	Main A
177	SalsB		Main B
178	SalsC		Fill AB
179	SalsD		Fill BA
180	SambA	Samba	Main A
181	SambB		Main B
182	SambC		Fill AB
183	SambD		Fill BA
184	BosaA	Bossa Nova	Main A
185	BosaB		Main B
186	BosaC		Fill AB
187	BosaD		Fill BA

### Raggae (レゲエ)

パターン ナンバー	LCD表示	スタイルネーム	セクション
188	RegeA	Reggae	Main A
189	RegeB		Main B
190	RegeC		Fill AB
191	RegeD		Fill BA
192	LvrsA	Lovers Rock	Main A
193	LvrsB		Main B
194	LvrsC		Fill AB
195	LvrsD		Fill BA

### Ethnic (エスニック)

パターン ナンバー	LCD表示	スタイルネーム	セクション
196	EthnA	Ethno	Main A
197	EthnB		Main B
198	EthnC		Fill AB
199	EthnD		Fill BA

# MIDIデータフォーマット

## MIDI受信

### ●ブロック図

<MIDI 受信条件>



<SW1> 送信チャンネル  
<SW2> プログラムチェンジ受信チャンネル  
<SW3> パターン、セレクトセレクトモード  
<SW4> ソングプレイモード  
<SW5> MIDIシンク時

### ●受信データ詳細

#### 1. システムリアルタイムメッセージ

TIMING CLOCK	11111000	(F8H)
START	11111010	(FAH)
CONTINUE	11111011	(FBH)
STOP	11111100	(FCH)
ACTIVE SENSING	11111110	(FEH)

#### 2. チャネルメッセージ

1) NOTE ON			
STATUS	1001nnnn	(9nH)	n=0-15 VOICE CHANNEL NUMBER
NOTE NUMBER	0kkkkkkk		k=0(C-2)-127(G8)
VELOCITY	0vvvvvvv		NOTE ON v=1-127

2) PROGRAM CHANGE			
STATUS	1100nnnn	(CnH)	n=0-15 VOICE CHANNEL NUMBER
PROGRAM NUMBER	0ppppppp		p=0-15

\* プログラムチェンジを受信した時、本機はキットナンバーに対応する番号に変更する。

#### 3. システム共通メッセージ

1) SONG SELECT			
STATUS	11110011	(F3H)	
SONG NUMBER	00ssssss		s=0-99

\* ソングプレイモード時に受信する

#### 4. システムエクスクルーシブメッセージ

BULK DUMP			
0	11110000	(F0H)	
1	01000011	(43H)	
2	00000000	(00H)	Device Number (00H 固定)
3	01111110	(7EH)	
4	00000100	(04H)	Byte count MSB
5	00001010	(0AH)	Byte count LSB
6	01001100	(4CH)	"L"
7	01001101	(4DH)	"M"
8	00100000	(20H)	" "
9	00100000	(20H)	" "
10	00110000	(30H)	"0"
11	00110002	(31H)	"2"
12	00110100	(35H)	"0"
13	00110011	(33H)	"3"
14	01000001	(41H)	"A"
15	01001100	(4CH)	"L"
16	0ddddd		Data
:	:		
17	0sssssss		Check sum
:	:		
18	11110111	(F7H)	EOX

\* バルクの受信は、パターンセレクトモード、ソングセレクトモードの時にのみ有効である。

\* Byte countからCheck sumまでを1ブロックとし、複数のブロックを繰返し転送する。

\* Dataは、1byteをMSB 4bitとLSB 4bitに分け、それぞれアスキーデータに変換して転送する。

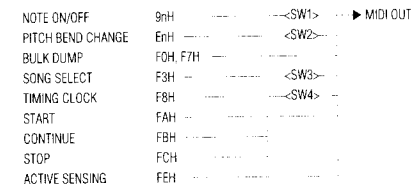
\* Dataには、以下のものが含まれる。

システムデータ  
MIDIセットアップデータ  
キットデータ  
パターンデータ  
ソングデータ

## MIDI送信

### ●ブロック図

<MIDI 送信条件>



<SW1> 送信チャンネル  
<SW2> 送信チャンネル  
<SW3> ソングプレイモード時送信  
<SW4> インターナルシンク時送信

### ●送信データ詳細

#### 1. システムリアルタイムメッセージ

TIMING CLOCK	11111000	(F8H)
START	11111010	(FAH)
CONTINUE	11111011	(FBH)
STOP	11111100	(FCH)
ACTIVE SENSING	11111110	(FEH)

#### 2. チャネルメッセージ

1) NOTE ON/OFF			
STATUS	1001nnnn	(9nH)	n=0-15 VOICE CHANNEL NUMBER
NOTE NUMBER	0kkkkkkk		k=0(C-2)-127(G8)
	0vvvvvvv		NOTE ON v=1-127
	00000000		NOTE OFF
2) PITCH BEND CHANGE			
STATUS	1110nnnn	(EnH)	n=0-15 EXTERNAL / HARMONY CHANNEL NUMBER
LSB	0lllllll		l=0-127
MSB	0hhhhhhh		h=0-127

#### 3. システム共通メッセージ

1) SONG SELECT			
STATUS	11110011	(F3H)	
SONG NUMBER	00ssssss		s=0-99

\* ソングセレクトモード時にソングを選択した時に送信する

#### 4. システムエクスクルーシブメッセージ

\* バルクの送信は、MIDIモードのバルクファンクションを有効にした時に行われる。

1) BULK DUMP  
送信内容は、受信条件の「システムエクスクルーシブメッセージ」を参照。

# ■ MIDIインプリメンテーションチャート

YAMAHA [Rhythm Programmer]			Date:06-OCT-1994	
Model	RY8	MIDI Implementation Chart	Version : 1.0	
Function ...	Transmitted	Recognized	Remarks	
Basic Default	1 - 16	1 - 16		
Channel Changed	1 - 16	1 - 16		
Default	3	3		
Mode Messages altered	x *****	x *****		
Note	0-127	0-127		
Number : True voice	*****	x		
Velocity Note ON	o 9nH, v=1-127	o 9nH, v=1-127		
Note OFF	o 9nH, v=0	x		
After Key's	x	x		
Touch Ch's	x	x		
Pitch Bender	o	x		
	x	x		
Control				
Change				
Prog	x	o 0 - 15	:kit select	
Change : True #	*****	x		
System Exclusive	o	o	:song data etc	
: Song Pos.	x	x		
: Song Sel.	o 0 - 99	o 0 - 99		
: Tune	x	x		
:System :Clock	o	o		
:Real Time :Commands	o	o		
:Aux :Local ON/OFF	x	x		
: :All Notes OFF	x	x		
:Mes- :Active Sense	o	o		
:sages:Reset	x	x		
Note:				

Mode 1 : OMNI ON, POLY Mode 2 : OMNI ON, MONO o : Yes  
 Mode 3 : OMNI OFF, POLY Mode 4 : OMNI OFF, MONO x : No

## 索引

### 50 音順索引

アクセント機能	72
アクセントデータのデリート 削除	72
アクセントレベル	89
[1]、[1]、[1] デッキ	17
インサート コードの挿入	85
インサート パターンの挿入	82
エクスターナルボイス	93
エクスターナルボイス送込チャンネル	100
エクスターナルボイスモード	92
演奏タイプ エクスターナルボイス	93
バックアップ	93
オーディション機能	71

カ	
カウント	71, 81
カーソル	3
[4]、[1]、[1] カーソルキー	3
ギターシンセサイザー機能	92
クイックガイド	6
クオンタイズ	69
クリア ソングの消去	77
クリア パターンの消去	67
クロック	68, 70, 83
コード 1/2	63, 102, 103
コード 演奏タイプ	93
コード (和音)	65, 83
コード指定機能	65
コードタイプ	65, 83
コードタイプリスト	66
コードチェンジのサイン	83
コードのインサート 挿入	85
コードのデリート (削除)	86
コードの変更	65
コードバート	65, 83
コピー (ソング)	78
コピー (ドラムキット)	91
コピー (パターン)	67

サ	
システムモード	96
初期化	59
シンクラ	93
スイング	66
ステップ録音 ソング	70
ステップ録音 パターン	70
ステレオパン	89
セクション	63
接続	5
センシティビティ (感度)	95
ソング	111, 74
ソングの演奏	74
ソングのクリア	77
ソングのコピー	78
ソングの選択 ソングセレクト	74
ソングプレイモード	74
ソングモード	74
ソングレコードモード	79

タ	
タイプ コード	65, 66
チューン	77
チェイス	91
チューナー機能	94
チューン	90
データインディケーター	66, 83
データ表示セクション	68, 83
デモソング	7, 74
デリート アクセントデータの削除	72
デリート コードの削除	84
デリート パターンの削除	82
デリート ボイスデータの削除	72
電源	4
テンボモード	101
連続録音数	73, 85
ドラムキット	111, 62, 96
ドラムキットナンバー	96
ドラムキットのコピー	91
ドラムキットの選択	96
ドラムキットモード	96
ドラムキットリスト	110
ドラムパッド	62
ドラムパッドナンバー	87
ドラムパッドパンク	62, 87
ドラムボイス	68, 87
ドラムボイスキープ	68, 87
ドラムボイスのサイン 取り当て	87
ドラムボイスリスト	106
トランスポーズモード	104

ナ	
ノートテーブル	98
ノートナンバー	99
ノーマルボイス	93
ノーマルボイスリスト	109

ハ	
バーカッションパッドパンク	62, 87
バートナンバー	74, 79
バート 小断 広指定	75
ハモニー 1/2	93, 100
ハーモニーボイス送信チャンネル	100
パターン	111, 63
パターンナンバー	63
パターンのインサート 挿入	82
パターンの演奏	64
パターンのクリア	67
パターンのコピー	67
パターンの選択 パターンセレクト	82
パターンのデリート 削除	82
パターンの変更 ソングプレイ	76
パターンの変更 ソングレコード	81
パターンプレイモード	63
パターンモード	63
パターンリスト	112
パターンレコードモード	68
バックアップ	63, 65, 73
バックアップネーム	63, 65
バックアップのサイン	73
バックアップの変更 パターン	65
バックアップの変更 ソング	85
バックアップパンク	62, 87
バランスモード	103
パルクデータ	89
ビートインディケーター	64, 68, 83
ビート 和 数	64, 68, 83
ピッチメーター	94
拍子	69
拍子音程	94
プログラムパターン AB	63
プログラムパターン BA	63
プログラムチェンジ送信チャンネル	98
ベース	63, 102, 103
ボイスデータのデリート 削除	72
ボイスネーム	87
ボリューム調節	64, 68, 83
ボリューム調節	6
ボリュームレベル ドラムパッド	88

マ	
ミックス機能	92
ミキサーモード	102
メインパターン A	63
メインパターン B	63
メジャー 小断 ナンバー	74, 79
メーター 拍子 クオンタイズ	69
モード	60

ラ	
リアルタイム録音 (ソング)	81
リアルタイム録音 パターン	71
リビート	76
リモートスタート機能	95
ルート コード	65

## アルファベット順索引

A	
acc. アクセント	72
ACCENT (アクセント) キー	62, 72
ACCENT アクセントレベル	89
ASSIGN	87
AUDITION オーディション キー	71

B	
BALANCE	103
BALANCE パランスモード	103
BULK SURE?	99
BWD 巻戻し キー	2

C	
CH	97
CHAIN	77
C-USE	91
CHORD 演奏タイプ	93
CHORD コード キー	65, 83
CLEAR SURE? ソング	77
CLEAR SURE? パターン	67
COPY SURE? ソング	78
COPY SURE? ドラムキット	91
COPY SURE? パターン	67

D	
DC IN デニーション 端子	4
DELETE デリート キー	72, 82, 84
DEMO	7, 74
DRUM	62, 87

E	
EMPTY	67, 68, 77
ENTER エンター キー	100
EXT CH	100
EXT IN エクスターナルイン 端子	3, 5
EXT IN エクスターナルインモード	92

F	
FACTORY SET ファクトリーセット	59
FWD 早送り キー	3

H	
HARM 1-2/3	93, 100
HRM CH	100

K	
KIT ドラムキットモード	86
KIT LIST (キットリスト)	2, 109

L	
LCD 液晶ディスプレイ	2
L LEVEL ボリュームレベル	88

M	
MEAS メジャー	74, 79
MOD	96
MIDI IN/OUT (ミディイン/アウト) 端子	3, 5
MIDI ソング	97
MIDI 送信 受信チャンネル	97
MIDI プログラムチェンジ受信チャンネル	99
MIX	92
MODE (モード) キー	62
MUTE (ミュートモード)	102

N	
NEXT	64
NI	99
NT TBL	98

O	
OCTAVE	93
OUTPUT L/MONO, R	93
アウトプット左/モノラル、右 端子	3, 5

P	
PAD BANK (パッドバンク) キー	62, 87
PAGE ページ キー	62
PAGE ページ	62
PAN	89
PART	74, 79
PATTERN (パターンモード)	63
PATTERN LIST (パターンリスト)	2, 111
PC	98
PERC	62, 87
PHONES (ヘッドフォン) 端子	3, 5
PLAY プレイ キー	2, 64, 75
POWER パワー スイッチ	3, 4
PTN パターン	63, 64

R	
REC レコード キー	2, 68, 79
RECORD ソング	79
RECORD パターン	68, 69
REPEAT	76

S	
SELECT ドラムキットの選択	96
SENS センティビティ	95
SINGLE	93
SONG ソングモード	74
START リモートスタート	95
STOP ストップ キー	2, 64, 75
SWING	66
SYNC	97
SYSTEM システムモード	96

T	
TEMPO テンボモード	101
TOP トップ キー	4
TRANS	104
TRANSPOSE トランスポーズモード	104
TUNE	90
TUNER	94

V	
VOLUME ボリューム スライダー	5

## ユーザーサポートサービスのご案内

ヤマハデジタル商品は、常に新技術/高機能を搭載し技術革新を進める一方、お使いになる方々の負担とわずらわしさを軽減できるような商品づくりを進めております。また取扱説明書の記載内容も、よりわかりやすく使いやすいものにするため、研究/改善いたしております。しかし、一部高機能デジタル商品では、取扱説明書だけでは説明しきれないほどのいろいろな知識や経験が必要としてしまうものがあります。実際の操作に関して、基本項目は取扱説明書に解説いたしておりますが、「記載内容が理解できない」、「手順通りに動作しない」、「記載が見つからない」といったさまざまな問題が起こる場合があります。そのようなお客様への一助となるよう、弊社ではデジタルインフォメーションセンターを開院いたしております。お気軽にご利用いただきますようご案内申し上げます。

お問い合わせの際には、「製品名」、「製造番号」、「ご住所」、「お名前」、「電話番号」をお知らせください。

### ヤマハデジタルインフォメーションセンター

T E L	053-460-1666
受付日	月曜日～金曜日(祝日およびセンターの休業日を除く)
受付時間	10:00～12:00/13:00～17:00

## 保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのヤマハ電気音響製品サービス拠点にご連絡ください。

### 保証

には保証書がついています。

保証書は販売店がお渡ししますので、必ず「販売店印・お買い上げ日」などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。

### ●保証期間

お買い上げ日から1年間です。

### ●保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

### ●保証期間経過後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。下記の部品については、使用時間により劣化しやすいため、消耗に応じて部品の交換が必要となります。消耗部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

## ヤマハ電気音響製品サービス拠点(修理受付および修理品お持ち込み窓口)

北海道サービスセンター	〒084-8543	札幌市中央区南10条西1丁目1-50 ヤマハセンター内	TEL(011)512-6108
仙台サービスセンター	〒984-0015	仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F	TEL(022)236-0249
首都圏サービスセンター	〒211-0025	川崎市中原区木月1184	TEL(044)434-3100
関東サービスステーション*	〒108-8568	東京都港区高輪2-17-11	TEL(03)5488-6825
浜松サービスセンター	〒435-0048	浜松市西町911 ヤマハ(株)宮竹工場内	TEL(053)465-6711
名古屋サービスセンター	〒454-0058	名古屋市中川区玉川町2-12 ヤマハ(株)名古屋流通センター3F	TEL(052)652-2230
大阪サービスセンター	〒565-0803	吹田市新声屋下1-16 ヤマハ(株)千里丘センター内	TEL(06)877-5262
四国サービスステーション	〒760-0029	高松市丸亀町8-7 (株)ヤマハミュージック神戸 高松店内	TEL(087)822-3045
広島サービスセンター	〒731-0113	広島市安佐南区西原6-14-14	TEL(082)874-3787
九州サービスセンター	〒812-8508	福岡市博多区博多駅前2-11-4	TEL(092)472-2134

[本社]

カスタマーサービス部	〒435-0048	浜松市西町911 ヤマハ(株)宮竹工場内	TEL(053)465-1158
------------	-----------	----------------------	------------------

## デジタル楽器に関するお問い合わせ窓口

EM北海道営業所	〒064-8543	札幌市中央区南10条西1丁目1-50 ヤマハセンター内	TEL(011)512-6113
EM仙台営業所	〒980-0804	仙台市青葉区大町2-2-10	TEL(022)222-6147
EM東京営業所	〒108-8568	東京都港区高輪2-17-11	TEL(03)5488-5476
EM関東営業所	〒108-8568	東京都港区高輪2-17-11	TEL(03)5488-5447
EM名古屋営業所	〒460-8588	名古屋市中区錦1-18-28	TEL(052)201-5199
EM大阪営業所	〒542-0081	大阪市中央区南船場3-12-9 心斎橋プラザビル東館	TEL(06)262-5231
EM広島営業所	〒730-8628	広島市中区紙屋町1-1-18 ヤマハビル	TEL(082)244-3749
EM九州営業所	〒812-8508	福岡市博多区博多駅前2-11-4	TEL(092)472-2130

電子楽器事業部 営業部	〒430-8650	浜松市中沢町10-1	TEL(053)460-2432
-------------	-----------	------------	------------------

ホームページ ニフティサーブ	http://www.yamaha.co.jp/ [GO FMIDIVA]コマンドでFMIDIVAに入ると、ヤマハデジタル楽器およびDTM製品のフォーラムがご覧いただけます。
電子会報	#16 ヤマハSynth & CBX情報ボード #17 ヤマハSynth & CBXユーザーズカフェ #18 ヤマハSynth & CBX相談室 #8 ヤマハ/デジタルCBX
データライブラリー	

●所在地・電話番号などは変更されることがあります。

— 四角い憎いあんちくしょう —

# RY&STORY

RY8ストーリー

ヤマハ株式会社

